

平成 28 年度

# 東京藝術大学学生募集要項

(音楽学部・別科)

※本学所定の「入学願書等提出書類」は別冊

平成 27 年 12 月

東 京 藝 術 大 学

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

音楽学部教務係 TEL 050 (5525) 2309

28

## 受験上の注意事項

1. 試験日程（集合時刻・試験時刻）及び合格者受験番号等試験に関する諸事項は、音楽学部構内の掲示及び本学ホームページ（<http://exam-m.geidai.ac.jp/>）で発表する。
  - (1) 本募集要項中の「入学試験実施日程表」に書かれている合格者発表日及び日程等発表日には、受験者自身が必ず掲示又は本学ホームページ（<http://exam-m.geidai.ac.jp/>）で確認すること。（過去に掲示の見落としや誤認のため受験できなかった者がいたので特に注意すること。）なお、学部第1回試験日程は平成28年2月24日（水）、別科試験日程は平成28年3月5日（土）いずれも16時以降に掲示及び本学ホームページ（<http://exam-m.geidai.ac.jp/>）で発表する。
  - (2) 掲示等で記載する番号は、本学部受験票の受験番号である。
2. 試験当日は掲示等で発表した集合時刻までに集合場所に入り、以後はすべて係員の指示に従うこと。（受験者以外の入構は認めない。）
  - (1) 本学部受験票と大学入試センター試験受験票（私費外国人留学生は「日本留学試験受験票」）を常に携帯し、正門出入りの際は守衛所の係員に提示すること。（受験票を忘れてたり紛失した場合は、係員に申し出ること。）
  - (2) 実技試験において集合時刻に遅れた者に対しては、受験を許可しない。ただし、やむを得ない事情（公的事情）により遅刻した場合は、ただちに入試事務室に申し出ること。
  - (3) 音出し室以外（集合場所、控室、廊下等）での発声又は楽器の練習は禁止する。
  - (4) 音出し室にあるピアノの使用は禁止する。
  - (5) 実技試験における受験の順序は、係員の指示に従うこと。
  - (6) 筆記試験において下敷は使用できない。時計は計時機能だけのもの（腕時計）に限り使用できる。
  - (7) 携帯電話等は、試験室に入る前に電源を切ってかばん等に入れておくこと。
  - (8) 試験の内容に関する質問には一切答えない。
  - (9) 試験中に身体の具合が悪くなった場合は、近くにいる係員に申し出ること。
  - (10) 本学部構内に忘れ物をした場合は、1週間以内に本学部教務係に申し出ること。
3. 試験場等の下見は一切認めない。
4. 試験に関する電話による問い合わせには原則として応じない。
5. 本学に駐車場はない。
6. 毎年入試の時期になると、本学及び駅の近辺で、本学関係者であるような印象を与えて合否電報を取り扱う者がいるが、本学とは一切関係がないので注意すること。また、本学は大学外において直接受験生に対して、住所その他の連絡先等を聞くことは一切ないので併せて注意すること。

以上

# 目 次

I	<b>音楽学部</b>	
○	音楽学部アドミッション・ポリシー	1
1.	募集人員	2
2.	出願資格	3
3.	選抜方法	3
4.	私費外国人留学生	4
5.	出願手続	5
6.	試験科目一覧	12
7.	試験日程・試験場	12
8.	合否判定基準及び入学者選抜試験個人成績の開示について	13
9.	試験内容及び試験曲	
ア.	専攻実技等	14
イ.	音楽に関する基礎能力検査及び副科実技等	42
ウ.	面接	48
エ.	その他	48
10.	合格者発表	48
11.	入学手続等について	49
12.	藝心寮（学生寮）について	50
13.	入学料・授業料の免除・徴収猶予について	50
14.	奨学金・特待生について	50
15.	平成28年度邦楽科「現代邦楽囃子分野（打楽器・笛）」・ 「現代箏曲分野（山田流・生田流共通）」の新設について	51
16.	【予告】平成29年度音楽学部入学者選抜試験における 「英語の資格・検定試験の活用」と「外国教育課程出身者特別入試の実施」 について	52
II	<b>別科</b>	
	出願手続・試験内容及び試験曲等	55
III	平成28年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目（別表1）	69
○	平成28年度大学入試センター試験 旧教育課程履修者に対する経過措置	71
IV	平成28年度音楽学部・別科入学試験実施日程表（別表2）	73
V	個人情報の取り扱いについて	75
	平成28年度東京藝術大学音楽学部入学者選抜試験個人成績請求申込書	77

# I 音楽学部

## ○ 音楽学部アドミッション・ポリシー

音楽学部は、音楽についての深い学識と高い技術を授け、音楽の各分野における創造、表現、研究に必要な優れた能力を養い、社会的要請に応える人材の育成を目指している。

この教育理念に基づき、本学部からは、百年以上に亘り世界的な音楽家や広く社会の文化発展に寄与した多くの人材を輩出してきた。

こうした伝統と遺産を継承しつつ、新たな歴史を刻み込む強い意志と意欲を持った方を求めている。  
具体的に本学部各々が求める学生像は次のとおりである。

### ○作曲科

優れた音楽的能力のみならず、伝統的な語法に関する確かな素養を身につけ、且つ自発性、創造性を有する人材

### ○声楽科

優れた声楽家になる可能性を持ち、智と人間性に優れた人材

### ○器楽科 ピアノ

優れたピアノ演奏技術と芸術的感性のみならず、音楽全般に対して幅広い関心を持っている人材

### ○器楽科 オルガン

確かな目的意識と意欲を持ち自分の才能をのばす熱意と忍耐力を持ち、音楽とオルガンに喜びを持って取り組む人材

### ○器楽科 弦楽

優れた基礎能力のみならず音楽表現に対する積極性を兼ね備えている人材

### ○器楽科 管打楽

演奏家として、人間と音楽に閃きを感じ持っている人材

### ○器楽科 古楽

専攻する楽器の構造と歴史に深い関心を持ち、喜びと熱意を持って演奏表現に取り組む将来性ある人材

### ○指揮科

優れたソルフェージュ力や豊かで説得力に富んだ音楽性を持ち、音楽的、芸術的に優れたリーダーシップを兼ね備えた人材

### ○邦楽科

専攻分野のみならず専攻以外の音楽にも幅広く研究を重ね、技術・人格共に優れた演奏家となるべく努力する人材

### ○楽理科

幅広い資料を検証する語学能力、独自の視点・問題点を発見する独創力、批判的に歴史・社会・文化を考察する思考力と論理性、様々な音楽に感動する柔軟な心を備え、将来何らかの形で音楽研究・実践・教育に携わる志を持つ人材

### ○音楽環境創造科

従来の枠をこえた観点で音楽芸術の創造をめざし、音楽・文化・社会の関わりについて強い関心を持ち、音楽を中心とした新しい文化環境創造を志す人材

## 1. 募集人員

学 科 名	募 集 人 員
作 曲 科	15
声 楽 科	54
器 楽 科	98
指 揮 科	2
邦 楽 科	25
楽 理 科	23
音楽環境創造科	20
合 計	237

- ※ 本学部は、前期日程のみの募集である。
- ※ 音楽環境創造科の授業は、主に千住校地（東京都足立区）で行う。  
 [千住校地所在地]  
 〒120-0034 東京都足立区千住 1-25-1  
 [交通機関]  
 (JR) 北千住駅下車徒歩5分  
 (東京メトロ) 千代田線・日比谷線北千住駅下車徒歩5分  
 (東武鉄道) 東武伊勢崎線北千住駅下車徒歩5分  
 (首都圏新都市鉄道) つくばエクスプレス北千住駅下車徒歩5分
- ※ 音楽環境創造科の入学選抜試験は、他の学科と同様、上野校地(東京都台東区)（裏表紙参照）で行う。

(注)1. 音楽学部への出願は、志願する科1つに限る。

- ① 声楽科志願者は、次の中から1声種を選択し出願すること。  
 ソプラノ・アルト（メゾソプラノを含む）・テノール・バス（バリトンを含む）
- ② 弦楽、管打楽及び古楽志願者は、次の楽器の中から1種を選択し、出願すること。  
 (弦楽) ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ  
 (管打楽) フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、テナー・トロンボーン、バス・トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、打楽器  
 (古楽) チェンバロ、バロックヴァイオリン、リコーダー
- ③ 邦楽科志願者は、次の中から1種を選択し出願すること。  
 長唄三味線、常磐津三味線、清元三味線、長唄、常磐津、清元、邦楽囃子、現代邦楽囃子（打楽器）、現代邦楽囃子（笛）、日本舞踊、箏曲(山田流)、箏曲(生田流)、現代箏曲、尺八(琴古流)、尺八(都山流)、能楽(観世流)、能楽(宝生流)、能楽(下掛宝生流)、能楽(狂言)、能楽囃子、雅楽(笙)、雅楽(箏)、雅楽(龍笛)  
 ※平成28年度より邦楽科邦楽囃子専攻の中に「現代邦楽囃子分野(打楽器・笛)」及び同科箏曲専攻の中に「現代箏曲分野」を新設する。概要は本募集要項51ページを参照すること。

## 2. 音楽学部と別科の併願受験について

音楽学部と別科の併願受験については、以下のとおり取り扱う。

- ① 併願を認める学科・専攻  
 音楽学部声楽科、器楽科（管打楽）及び邦楽科の各志願者にあつては、それぞれ別科の声楽専修、器楽専修（管打楽）及び邦楽専修と併願受験できる。
- ② 併願を禁止する学科・専攻  
 音楽学部器楽科（ピアノ・オルガン・弦楽・古楽）の各志願者は、それぞれ別科の各専修と併願受験することはできない。これらについては、志願する音楽学部の学科・専攻と別科の専修が異なる場合でも併願受験はできない。

## 2. 出願資格

本学部に出願できる者は、次のいずれかに該当し、本学部の指定する平成28年度大学入試センター試験の教科・科目のすべてを受験した者とする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成28年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、又は通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者及び平成28年3月修了見込みの者
- (3) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成28年3月31日までに、これに該当する見込みの者
  - ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
  - イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者
  - ウ 専修学校の高等課程（修学年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
  - エ 文部科学大臣の指定した者
  - オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成28年3月31日までに合格見込みの者で、18歳に達した者
  - カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの

（補足）出願資格(3)カにより出願を希望する者には、個別の入学資格審査を行うので、事前に本学事務局学生課（TEL 050-5525-2075）に申し出て相談（提出締切期限の1ヶ月以上前が望ましい。）のうえ申請書類を受け取り、本学が指定した書類等を下記の提出締切期限までに提出すること。提出締切期限は、①大学入試センター試験に出願する以前から本学に出願することを希望する場合は、平成27年8月31日（月）までとし、②大学入試センター試験に出願後、志望大学を変更して本学に出願することを希望する場合は、平成27年12月25日（金）までとする。

- (注)1. 本学部（前期日程）に出願する者は、「前期日程」の本学美術学部及び他の大学・学部に出願できないが、「後期日程」の他の大学・学部には出願できる。
2. 他の国公立大学・学部の推薦入試合格者は、当該推薦入試を実施した大学・学部の定める推薦入試辞退手続により辞退を許可された場合を除いて、本学部の入学試験を受験しても合格者とはならないので注意すること。
  3. 他の国公立大学・学部のAO入試に合格し、入学手続を完了した者は、当該AO入試を実施した大学・学部の定める手続により入学を辞退した場合を除いて、本学部の入学試験を受験しても合格者とはならないので注意すること。
  4. 本学部合格し、平成28年3月15日（火）までに入学手続きを行った者は、「後期日程」の試験を受験しても、その合格者とはならないので注意すること。

## 3. 選抜方法

入学者の選抜は、専攻実技等・音楽に関する基礎能力検査及び副科実技等・面接（作曲科、邦楽科及び音楽環境創造科の志願者のみ）及び出身学校長から提出された調査書並びに大学入試センター試験の成績の各資料を総合して判定する。

### 1. 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

本学部においては、大学入試センター試験について別表1のとおり受験を要する教科・科目を指定しているのでまちがいのないように注意すること。願書受理後であっても、本学部の指定した教科・科目を受験していないことが明らかになった場合は失格とする。

## 2. 私費外国人留学生

本学部が実施する個別試験及び提出された書類並びに「日本留学試験」の成績の各資料を総合して判定する。なお、私費外国人留学生には、大学入試センター試験を課さない。（「私費外国人留学生」についての詳細は本ページ参照）

## 3. 特別の選抜方法について

本学部においては、2段階選抜、推薦入学、専門高校・総合学科卒業生選抜、AO入試、帰国子女・社会人のための特別の選抜は行わない。

### 【予告】平成29年度音楽学部入学者選抜試験における「英語の資格・検定試験の活用」と「外国教育課程出身者特別入試の実施」について

平成29年度より音楽学部「作曲科・声楽科・器楽科・指揮科・邦楽科」において、「英語の資格・検定試験」を活用した入学者選抜試験を実施する。また同年度より音楽学部「全学科」において「外国教育課程出身者特別入試」を実施する。詳細は本募集要項52, 53ページを参照すること。

## 4. 私費外国人留学生

「私費外国人留学生」とは、外国の国籍を有し、出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）において大学入学に支障のない在留資格を有する者又は取得見込みの者で、下記の出願資格のいずれかに該当する者を指す。

大学入試センター試験は課さないが、独立行政法人日本学生支援機構が実施する平成27年度「日本留学試験」を本学部が定めた（下記「日本留学試験」出題科目等について）を参照）とおりに受験しなければならない。募集人員は、入学定員外として若干人である。なお、日本の高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者及び平成28年3月31日までに卒業見込みの者は、ここでいう「私費外国人留学生」には該当しない。

### 出願資格

- (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣が指定したもの
- (2) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格及びフランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格のいずれかを取得した者及び平成28年3月31日までに取得見込みの者で、平成28年3月31日までに18歳に達する者
- (3) 外国人を対象に教育を行うことを目的として我が国において設置された教育施設であって、その教育活動等について、アメリカ合衆国カリフォルニア州に主たる事務所が所在する団体であるウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ、同国コロラド州に主たる事務所が所在する団体であるアソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル又はグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国ハンプシャー市に主たる事務所が所在する団体であるヨーロッパ・カウンセル・オブ・インターナショナル・スクールズの認定を受けたものに置かれる12年の課程を修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者で、平成28年3月31日までに18歳に達する者

### 「日本留学試験」出題科目等について

「日本語」及び「総合科目」を受験すること。

- (注)1. 日本語科目以外において、日本語及び英語による出題については、いずれを受験してもよい。  
2. 渡日前の入学許可は行わない。（外国において本学部の入学者選抜は行わない。）  
3. 6月・11月実施のいずれの試験を受験してもよい。

### 「日本留学試験」に関する問い合わせ先

独立行政法人日本学生支援機構 留学生事業部留学試験課  
〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29 TEL 03-6407-7457  
ホームページ <http://www.jasso.go.jp>

## 5. 出願手続

### 1. 願書受付期間

平成28年1月25日(月)～平成28年2月3日(水)

郵送による出願とし、上記の期間内消印有効とする。

(注) 入学願書を直接大学に持参したもの、又は郵便局の消印が上記期間外のものを受理しないので注意すること。

### 2. 検定料

#### ① 金額：20,400円

国費外国人留学生は納入不要である。ただし、「国費外国人留学生在籍証明書」を在籍する大学に発行を依頼して、必ず提出すること。

【入学検定料免除制度について】

平成23年3月11日に発生した東日本大震災において被災した方は、入学検定料の免除を受けられる制度があります。免除を希望する方は、入学願書提出前に「入学検定料免除申請書」を提出いただくことが必要です。免除の許可または不許可が決定する前に検定料を納入していただく必要はありません。申請時期などの詳細は本学ホームページ (<http://www.geidai.ac.jp/news/2015070333257.html>) でご確認ください。

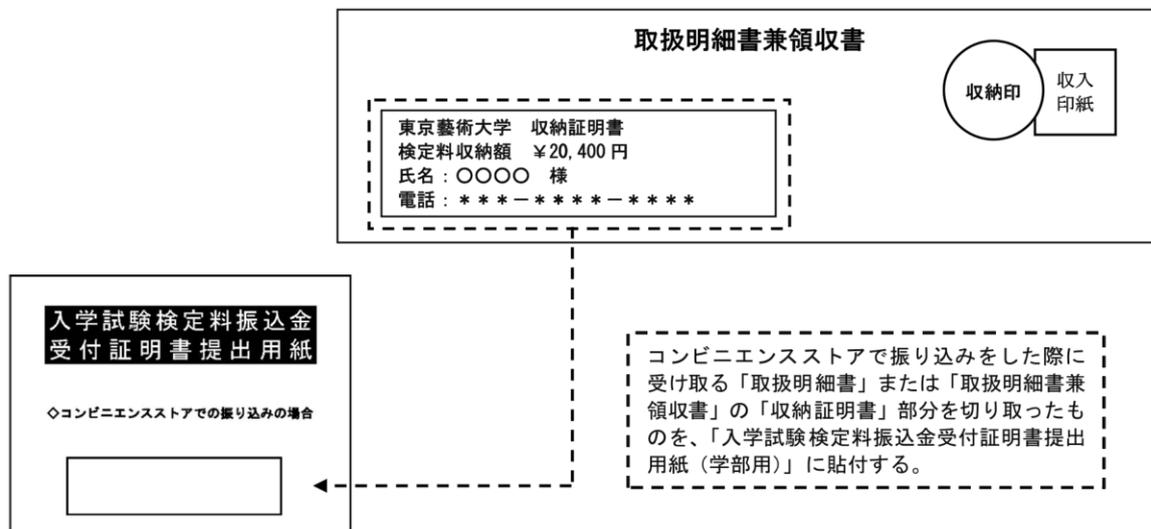
#### ② 振込期間：平成28年1月5日(火)～平成28年2月3日(水)

#### ③ 振込方法及び提出書類：

以下の(ア)、(イ)、(ウ)のいずれかの方法により振り込むこと。

##### (ア) コンビニエンスストアでの振り込み

- ・8ページの説明を参照の上、振り込み手続を行うこと。
- ・振り込み時に、この要項に添付している「検定料振込依頼書(A・B・C票)」に記載された「整理番号」(5桁)の入力が必要である。
- ・コンビニエンスストアで振り込んだ際に受け取る「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取ったものを、「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙(学部用)」に貼付して提出すること。
- ・コンビニエンスストア内のATMによる振り込みは受け付けない。必ず指定の端末にて手続を行うこと。



##### (イ) 金融機関窓口での振り込み

- ・この要項に添付している「検定料振込依頼書(A・B・C票)」を使用すること。
- ・取扱金融機関は次の通りである。  
都市銀行・信託銀行・地方銀行・信用金庫・信用組合・農業協同組合・ゆうちょ銀行(郵便局)等(金融公庫では振り込みできない)。
- ・ゆうちょ銀行(郵便局)での振り込みはゆうちょ銀行の口座からのみ可能である。詳しくは振り込みを依頼する店舗に問い合わせること。
- ・振り込み時には別途手数料が必要である。(三井住友銀行本・支店から振り込む場合は手数料が無料になる)。
- ・金融機関ATM(現金自動預け払い機)による振り込みは受け付けない。
- ・振り込み後に返却されるB・C票のうち、C票を切り離し、「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙(学部用)」に貼付して提出すること。

(次ページに続く)

**A票 振込依頼書**  
〔東京芸術大学〕入学試験検定料

金融機関取扱期間  
平成30年01月01日～平成30年03月31日

ご依頼日 専攻(声種・楽器等)名 電話番号 手数料

平成 年 月 日

振込先 三井住友銀行 東京公務部 金額 ¥2,040,000

受取人 普通 151793

国立大学法人 東京芸術大学 検定料収納口

整理番号 志願者氏名

依頼人(志願者) (印) ( ) ( )

※【取扱金融機関へのお問い合わせ】

1. 右の整理番号は、氏名欄部へ連続して打電してください。
2. 収納印はA・B・C票の3ヶ所にもれなく押印してください。
3. B・C票は、必ず依頼人へお返しくください。
4. 三井住友銀行本支店にて振込の場合の振込手数料は無料となります。(ATM等は不可です)

(取扱金融機関保管) 音楽・学部

**B票 振込金受取書**  
〔東京芸術大学〕入学試験検定料

平成 年 月 日

金額 ¥2,040,000

振込先 三井住友銀行 東京公務部

受取人 東京芸術大学

整理番号

志願者氏名 (フリガナ)

手数料

収入印紙

(志願者保管) 音楽・学部

**C票 「東京芸術大学」入学試験検定料振込金受付証明書**

金額 ¥2,040,000

振込先 三井住友銀行 東京公務部

受取人 東京芸術大学

整理番号

志願者氏名 (フリガナ)

収入印紙

(大学提出用) 音楽・学部

**入学試験検定料振込金  
受付証明書提出用紙**

◇銀行等金融機関での振り込みの場合

C票 「東京芸術大学」入学試験  
検定料振込金受付証明書

金融機関窓口で振り込みをした際、返却されたB・C票のうち、C票を切り離し、志望専攻(声種・楽器等)名・氏名を記入のうえ、「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙(学部用)」に貼付する。

(ウ) 外国からの送金

- ・ 志願者が外国から送金する場合は、下記の要領に従って送金すること。
- ・ 検定料 (20,400円) + 自国で発生する送金手数料 (送金時に確認すること) + 日本国内手数料 (4,000円) を用意すること。  
(送金途中で経由する銀行がある場合、上記以外に経由銀行での手数料が生じる場合がある。)
- ・ 手数料はすべて依頼人負担として送金すること。依頼人負担の指定を行わない場合、手数料を差し引いた残額しか入金されない。
- ・ 振り込み後、「外国送金依頼書(送金銀行の受領印またはサイン入り)」の写しを「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙(学部用)」に貼付し、他の書類とともに提出すること。

送金種類 (Type of remittance)	電信送金 (Telegraphic transfer)
通貨 (Currency)	日本円 (Japanese Yen)
支払方法 (Method of payment)	通知払 (Advice and pay)
手数料 (Charge)	依頼人負担 (Borne by Payer) (check "OUR")
送金目的 (Purpose of payment)	検定料 (Screening fee)
銀行名 (Paying bank)	三井住友銀行 (Sumitomo Mitsui Banking Corporation)
支店名 (Branch)	東京公務部 (Tokyo Koumubu Branch)
スウィフトコード (SWIFT CODE)	SMBCJPJT
銀行住所 (Bank Address)	〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-6-12 1-6-12 Toranomom, Minato-ku, Tokyo Japan
受取人口座番号 (Account number)	普通預金151793 (A/C 151793)
受取人 (Account name)	国立大学法人 東京芸術大学 検定料収納口 (Tokyo University of the Arts)
住所 (Address)	〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 (12-8 Ueno-park, Taito-ku, Tokyo Japan)

(次ページに続く)

連絡事項 (Message to payee)

- ・志願者の氏名 (Name of applicant)
- ・受験学部, 学科  
(Name of the department which you are applying)

④ 返還について

願書を受理した後は、次の(ア)、(イ)、(ウ)の場合を除き、いかなる理由があっても振り込み済みの検定料は返還しない。

- (ア) 検定料を振り込んだが、願書を提出しなかった、または願書が受理されなかった場合
- (イ) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合
- (ウ) 受験票発行後、大学入試センター試験において本学部が指定する教科・科目を受験していない等の失格要件が判明し、失格となった場合

返還金額は、上記(ア)と(イ)については全額とし、(ウ)については13,000円とする。

上記(ア)から(ウ)のいずれかに該当する場合の返還請求の方法は次の通りとする。

便せん等を使用し、以下①～⑦の項目について記入した「検定料返還請求願」を作成し、「取扱明細書」、「収納証明書」、「C票」のいずれかを添付して、東京藝術大学戦略企画課経理係（郵便番号110-8714 東京都台東区上野公園12-8）まで郵送すること。

- ①名前、②住所、③電話番号、④受験予定の科・専攻・声種・楽器名等、⑤金額、⑥返還請求の理由、⑦振込先の銀行名・支店名・普通口座または当座口座の別・口座名義（カタカナ）・口座番号

※大学から志願者への返還金額は振込手数料を差し引いた額である。

※返還請求願受領後、返還金の振り込みまで通常約1ヶ月かかる。

※志願者本人が銀行口座を持っておらず、保護者等の口座に返還を希望する場合は、必ずその旨を書いた委任状を返還請求願と一緒に送付すること。

# 東京藝術大学 コンビニエンスストアでの入学検定料支払方法のご案内

**⚠ お申込みの前に** お申込みの際に、振込依頼書に印字されている整理番号(5桁)の入力が必要です。

整理番号メモ (5桁)					
----------------	--	--	--	--	--

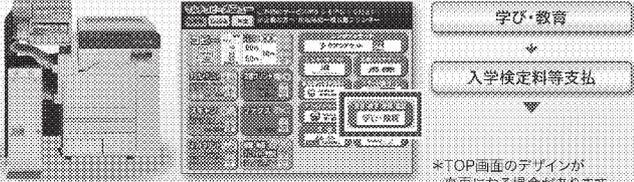
下記のコンビニエンスストアの端末にて払い込みができます。

### セブン-イレブン マルチコピー機

<http://www.sej.co.jp>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。

TOP画面の「**学び・教育**」よりお申込みください。



学び・教育  
↓  
入学検定料等支払

\*TOP画面のデザインが変更になる場合があります。

### LAWSON Loppi / Mini Stop Loppi

<http://www.lawson.co.jp>    <http://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。

TOP画面の「**各種サービスメニュー**」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン  
↓  
学び・教育・各種検定試験  
↓  
大学・短大・専門、小・中・高校等お支払い

### あなたと、コンビニに。 FamilyMart Famiポート

<http://www.family.co.jp>

最寄りの「ファミリーマート」にある「Famiポート」へ。

TOP画面の「**申込・請求(学び・教育)**」よりお申込みください。



申込・請求  
↓  
学び・教育  
↓  
各種(入学検定料等)お支払いサービス

### Circle Kサンクス Kstation

<http://www.circleksunkus.jp>

最寄りの「サークルK・サンクス」にある「Kステーション」へ。

TOP画面の「**学び・申込**」よりお申込みください。



「学び・申込」  
↓  
各種(入学検定料等)のお支払い

東京藝術大学 をタッチし、申込情報を入力して「**払込票 / 申込券 / 受付票**」を発券ください。

\*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

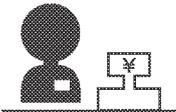
### コンビニのレジでお支払いください。

- 端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi, Famiポート)または「受付票」(Kステーション)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**
- お支払い後は「取扱明細書」(マルチコピー機、Kステーション)または「取扱明細書兼領収書」(Loppi, Famiポート)を受け取ってください。

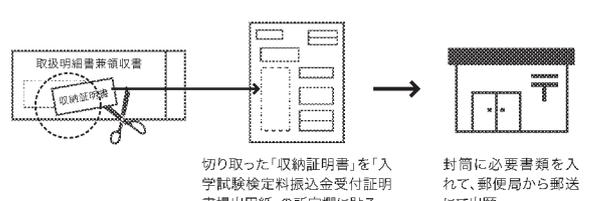
\*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できませんのでご注意ください。  
\*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなりますのでご注意ください。  
\*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

※全コンビニ共通

払込手数料	入学検定料が5万円未満	432円
-------	-------------	------



### 「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、学生募集要項の指示に従って、所定の欄に貼りつけてください。



貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある欄は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

切り取った「収納証明書」を「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」の所定欄に貼る。

封筒に必要書類を入れて、郵便局から郵送にて出願。

【入試に関するお問合わせ先】 東京藝術大学  
美術学部教務係 TEL 050-5525-2122 / 音楽学部教務係 TEL 050-5525-2309 / 映像研究科教務係 TEL 050-5525-2671  
(受付時間) 月曜～金曜 9:00～12:30 13:30～16:30 ※土曜・日曜・祝日を除く

【操作などのお問合わせ先】 学び・教育サポートセンター <http://e-apply.jp/> ※コンビニ店頭ではお応えできません。

### 3. 提出書類

志願者は以下の書類を本学部所定の入学願書送付用封筒を使用し、「書留速達郵便」扱いで郵送すること。

ただし、⑩伴奏楽譜（声楽科志願者）については本学部所定の伴奏楽譜送付用封筒を使用して、また⑬楽譜（古楽志願者）及び⑭楽譜（邦楽科現代箏曲志願者）については任意の封筒を使用して、「書留速達郵便」扱いとし入学願書と同時郵送すること。

(注)1. 書留郵便1通には1人分の書類のみをまとめ、出願者数名分の一括郵送はしてはならない。

2. 声楽科志願者は伴奏楽譜の中に、古楽志願者及び邦楽科現代箏曲志願者は楽譜の中に、願書等（①～⑨、⑪～⑫、⑭、⑯～⑰）を絶対に同封してはならない。同封した場合受験できないことがある。（10、11ページ参照）

書 類	様 式 等	注 意 事 項
① 入 学 願 書	本学部所定の様式	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 願書に記入する氏名は、必ず戸籍簿のそれと同一文字でなければならない。このことは他の提出書類についても同様である。</li> <li>○ 指導教師名の申告欄には、<u>中学校入学以降受験までの間に以下について指導を受けた教師の氏名及びその期間について記入すること。</u>（別科志願者は記入不要。）正確に記憶していない場合は概略でもかまわない。なお、一度でも指導を受けた場合は記入すること。また、指導を受けていない場合は「該当なし」と記入すること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・受験志望の専攻実技</li> <li>・楽典、聴音等ソルフェージュ全般</li> </ul> </li> <li>○ 記入にあたっては楷書及び算用数字を用い、黒又は青のインクかボールペンで明記すること。（以下同じ）</li> </ul>
② 写 真 票	本学部所定の様式	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真は<sup>(たて)</sup>4 cm×<sup>(よこ)</sup>3 cmのサイズで、明らかに志願者本人であることが認められる単身、脱帽、上半身、正面向で出願前3か月以内に撮影したもの（スナップ写真は不可）を写真票の所定の欄に貼ること。</li> <li>○ 写真裏面に受験志望学科及び氏名を記入すること。</li> </ul>
③ 大学入試センター試験 前期日程 成績請求票 貼付用紙	大学入試センター所定のものを本学部所定の様式に貼る	<p>平成28年度大学入試センター試験の</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> <b>前</b> 平成 28 センター試験成績請求票 国公立前期日程用 </div> <p>を所定の欄に貼ること。</p> <p>なお、紛失等により成績請求票の再交付を受けた場合は、再交付後のものを貼ること。</p>
④ 受 験 票 〔裏面は返信 用はがき〕	本学部所定の様式	<p>受験票裏面は、「返信用郵便はがき」である。志願者自身が自己の郵便番号・住所・氏名を明記し、332円切手（速達分）を貼ること。</p>
⑤ 入 学 試 験 検 定 料 振 込 金 受 付 証 明 書 (C 票) 取 扱 明 細 書 収 納 証 明 書	本学部所定の様式	<p>検定料20,400円(別科は9,800円)を銀行又はコンビニエンスストアで納入したのち、振込先から受領する本紙のうちいずれかを、「⑥入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙&lt;学部用&gt;」(別科は&lt;別科用&gt;)に糊付添付し提出すること。</p>
⑥ 入 学 試 験 検 定 料 振 込 金 受 付 証 明 書 提 出 用 紙	本学部所定の様式	<p>「⑤入学試験検定料振込金受付証明書(C票)」,「取扱明細書」「収納証明書」(検定料納入済のもの)を本紙に糊付添付したものを提出すること。</p>

(次ページに続く)

書 類	様 式 等	注 意 事 項
⑦ 調 査 書	出身学校長 が作成し厳 封したもの	<p>○高等学校もしくは中等教育学校卒業者及び卒業見込者 出身学校長が作成した調査書 ※ただし、指導要録の保存期間の経過、廃校、被災その他の事情により 出身学校から調査書が得られない場合は、以下の書類を全て提出する こと。 〔・卒業証明書 ・成績証明書 【注1】成績証明書が発行できない場合には、それに代わる書類 または出身学校長からの「成績証明書を発行できない旨 の文書」を提出すること。 【注2】廃校等により卒業証明書及び成績証明書が得られない場 合には、出身学校を所管した教育委員会又は知事が作成 した上記の書類を提出すること。</p> <p>○高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定合格者を含む） 合格成績証明書（ただし、高等学校等において科目を履修したことにより 受験科目を一部免除された場合は、その免除された科目の高等学校等の調査 書又は成績証明書を添えること。合格証明書は不要。） ※婚姻等により調査書記載の姓と現在の姓が異なる場合は、戸籍抄本を添付す ること。</p>
⑧ 入学手続書 類送付用宛 名ラベル シ ー ル	本学部所定 の様式	平成28年3月12日（土）に入学手続書類を取りに来ない場合に、最終合格者 への書類送付時に使用するラベル。必ず志願者本人に書類が届く宛先（日本国 内に限る。直接取りに来る予定であっても必ず提出すること。海外在住者は日 本国内の代理人を指定すること。）を記入すること。
⑨ 声 楽 科 受 験 曲 目 提 出 用 紙	本学部所定の様式 〔声 楽 科〕 〔志 願 者〕	所定の用紙に記入すること。
⑩ 声 楽 科 伴 奏 楽 譜	本学部所定 の様式 〔声 楽 科〕 〔志 願 者〕	<p>○ 声楽科伴奏楽譜送付用封筒を使用して書留速達扱いとし、願書とは別便で 同時郵送すること。この封筒内には、提出楽譜以外の願書等を絶対に同封し てはならない。同封した場合には受験できないことがある。</p> <p>○ 伴奏楽譜の作成にあたっては「声楽科志願者に対する注意事項」(18ページ) に従うこと。</p> <p>○ 別科（声楽専修）を併願する者は、任意の封筒を使用して別途伴奏楽譜を 郵送すること。</p>
⑪ ピ ア ノ 受 験 曲 目 提 出 用 紙	本学部所定 の様式 〔ピ ア ノ〕 〔志 願 者〕	所定の用紙に記入すること。
⑫ 古 楽 受 験 曲 目 提 出 用 紙	本学部所定 の様式 〔古 楽〕 〔志 願 者〕	所定の用紙に記入すること。
⑬ 古 楽 楽 譜	任意様式 〔古 楽〕 〔志 願 者〕	<p>○ 任意の封筒を使用して書留速達扱いとし、願書とは別便で同時郵送するこ と。</p> <p>○ 楽譜の作成にあたっては、古楽「試験内容及び試験曲」古楽共通注意事項 (34ページ)に従うこと。</p>

(次ページに続く)

書 類	様 式 等	注 意 事 項
⑭ 邦 楽 科 受 験 曲 目 提 出 用 紙	本学部所定 の様式 (邦 楽 科) (志 願 者)	所定の用紙に記入すること。
⑮ 邦 楽 科 邦 楽 譜	任意様式 (邦 楽 科) (現 代 箏 曲) (志 願 者)	○ 任意の封筒を使用して書留速達扱いとし、願書とは別便で同時郵送すること。 ○ 楽譜の作成にあたっては、現代箏曲第二回試験「試験内容及び試験曲」(38ページ)に従うこと。
⑯ 副 科 ピアノ 受 験 曲 目 提 出 用 紙	本学部所定 の様式 (副 科 ピアノ) (受 験 対 象 者)	所定の用紙に記入すること。
⑰ 志 望 理 由 書 (音 楽 環 境 創 造 科 志 願 者 用)	本学部所定 の様式 (音 楽 環 境 創 造 科) (志 願 者)	所定の用紙に記入すること。
⑱ そ の 他		平成27年度「日本留学試験」の受験者は、独立行政法人日本学生支援機構 留学生事業部留学試験課〔〒153-8503 東京都目黒区駒場 4-5-29 電話 03-6407-7457〕が発行する成績通知書を提出すること。

- (注) 1. 願書受理後はいかなる事情があっても曲目・選択科目等の変更は一切認めない。  
2. 証明書が日本語以外で記載されている場合は、日本語訳を添付すること。  
3. 本大学及び国内の他大学との二重学籍は認めないので、出願時に十分考慮すること。

#### 4. 受験票

提出書類①～⑱までを完全に整えて提出した者に対して受験票を送付する。

- (注) 1. 邦楽科の長唄三味線・常磐津三味線・清元三味線・長唄・常磐津・清元は三味線音楽として、尺八(琴古流)・尺八(都山流)は尺八として、通し番号で受験番号をふる。  
2. 受験票が平成28年2月15日(月)までに到着しないときは、平成28年2月19日(金)までに音楽学部教務係へ申し出ること。〔音楽学部教務係 電話 050-5525-2309〕

#### 5. 障害のある入学志願者の事前相談

受験上の特別な措置及び修学上の特別な配慮を必要とする入学志願者は事前に連絡し、平成28年1月8日(金)までに申請書に医師の診断書を添え、音楽学部教務係に相談すること。その結果必要な場合には、志願者又は出身高等学校関係者等との面談を行う。また、期限後に受験上の特別な措置及び修学上の特別な配慮が必要になった入学志願者もすみやかに音楽学部教務係に連絡すること。なお、申請書に記載する事項は次のとおりとする。

- ①志望の学科・専攻    ②障害の種類・程度    ③受験上の特別な措置を希望する事項  
④修学上の特別な配慮を希望する事項    ⑤その他参考となる事項

## 6. 試験科目一覧

学科等	試験科目	専攻実技等 (14頁～41頁に記載)	音楽に関する基礎能力検査 (42頁～44頁に記載)				副科実技等 (45頁～47頁に記載)				面接 (48頁に記載)
			聴音書き取り	楽典	新曲視唱	リズム課題	副科ピアノ	副科ピアノ以外の副科実技	ピアノ新曲	和声	
	作曲科	○	○	○	○	○		○		○	
	声楽科	○	○	○	※	※	○				
器楽科	ピアノ	○	○	○	○	○					
	オルガン	○	○	○	○	○					
	弦楽	○	○	○	○	○					
	管打楽	○	○	○	○	○					
	古楽	○	○	○	○	○					
	指揮科	○		○			○		○		
	邦楽科	○		○						○	
	楽理科	△	○	○	○	○	○		○		
	音楽環境創造科	□								○	

自己表現を含む(41頁参照)←

- (注)1. 表中、楽理科の専攻試験(△印)は、学科試験(国語、外国語)、小論文(含・口述試問)として大学入試センター試験とは別に行う。
2. 表中、音楽環境創造科の専攻試験(□印)は、学力検査(音楽)、小論文とする。
3. 楽理科志願者が副科ピアノ以外の副科実技を選択した場合は、副科ピアノを受験する必要はない。
4. 表中、声楽科の「新曲視唱・リズム課題」(※印)は、第3回専攻実技試験として行う。(15ページ参照のこと)
5. 課せられた試験を1つでも受験しなかった者は失格(不合格)となる。
6. 試験日時・試験曲等をまちがえた場合は失格(不合格)となる。

## 7. 試験日程・試験場

### 1. 試験日程

各学科の試験は入学試験実施日程表(別表2)のとおり実施する。

なお、第1回試験の日程等に関しては、音楽学部構内に掲示及び本学ホームページで発表する。

本学ホームページ(<http://exam-m.geidai.ac.jp/>)では、掲示発表の1時間後に日程及び注意事項等を掲載する予定である。

**※本学では追試験は実施しない。**

### 2. 試験場

試験は全学科、東京藝術大学音楽学部(東京都台東区上野公園12-8)において実施する。

(試験場案内図は裏表紙を参照すること。)

## 8. 合否判定基準及び入学者選抜試験個人成績の開示について

### 1. 合否判定基準について

#### 〔作曲科，邦楽科〕

専攻実技を重視する。音楽に関する基礎能力検査，副科実技等，面接，調査書及び大学入試センター試験結果は総合判定に用いる。

#### 〔声楽科，器楽科，指揮科〕

専攻実技を重視する。音楽に関する基礎能力検査，副科実技等，調査書及び大学入試センター試験結果は，総合判定に用いる。

#### 〔楽理科〕

本学部個別学力検査（国語・外国語），小論文（含・口述試問），音楽に関する基礎能力検査，副科実技等，調査書及び大学入試センター試験結果を総合して判定する。

#### 〔音楽環境創造科〕

大学入試センター試験成績は，1次・2次判定に用いる。大学入試センター試験成績，個別試験の成績，及び調査書を総合して判定する。志望理由書は，面接時の参考とする。

### 2. 入学者選抜試験個人成績の開示について

平成28年度一般選抜入学試験の個人成績を本人に限って開示する。（合格者は除く。）希望者は，次の方法により申し込むこと。

#### (1) 申込者

受験者本人に限る。（代理人による申し込みは認めない。）

#### (2) 申込期間

##### ○受験者本人が来学する場合

平成28年6月1日（水）から平成28年6月30日（木）（土，日曜日は除く。）

9：00～16：30（12：30～13：30は除く。）

##### ○郵便で開示願いをする場合

平成28年6月1日（水）から平成28年6月30日（木）の消印のみ受け付ける。

#### (3) 申込方法

##### ○受験者本人が来学する場合

募集要項巻末の「個人成績請求申込書」すべてに受験者本人が記入し，本学受験票（コピーは不可），返信用封筒（長形3号 [12cm×23.5cm] 封筒に受験者本人の郵便番号，住所，氏名を記入し，392円切手を貼付したもの）の3点を持参のうえ来学し，音楽学部教務係で申し込むこと。（後日「簡易書留郵便」で送付する。）

##### ○郵便で開示願いをする場合

居住地が遠隔地である等の理由で来学できない場合は，郵便での請求を受け付ける。

募集要項巻末の「個人成績請求申込書」すべてに受験者本人が記入のうえ，本学受験票（コピーは不可），返信用封筒（長形3号封筒に受験者本人の郵便番号，住所，氏名を記入し，392円切手を貼付したもの）の3点を東京藝術大学音楽学部教務係宛に簡易書留で郵送すること。（後日，「簡易書留郵便」で送付する。）

#### (4) 開示内容

##### ① 試験成績【得点】

大学入試センター試験の成績を科目ごとに開示する。

##### ② 試験成績【順位】

第一次試験，第二次試験，第三次試験（作曲），及び最終試験の各合否判定に用いた順位を開示する。

ただし，各楽器等種類ごとの各合格者数が，少数（10人程度以下）の場合は開示しない。

##### ③ 最終次試験不合格者には，総合判定に影響のあった試験科目が特定できる場合に，その科目名を開示する。

##### ④ 調査書（「指導上参考となる諸事項」，「備考」欄は除く。）

#### (5) 問い合わせ先

東京藝術大学音楽学部教務係

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 電話050-5525-2309

## 9. 試験内容及び試験曲

### ア. 専攻実技等

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
作曲		第一回 与えられたバス及びソプラノの声部により、それぞれ4声体の和声を作る。(各3時間)
		第二回 (1) 厳格対位法：与えられた定旋律による3声華麗対位法と混合類各1題を作る。(3時間) (2) 与えられたコラール旋律により、バッハ様式で4声コラール1題を作る。(2時間)(計5時間)
		第三回 与えられた主題、指定された形式(*), 編成により楽曲を完成する。 なお楽器編成は下記から指定する。 フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルン、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、ピアノ (8時間。ただし、途中昼食休憩の1時間を別に設ける。) *変奏曲、ロンド、ソナタ等の形式 ※形式及び楽器編成については当日指定する。

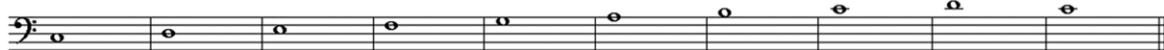
#### 【例題】

##### 1. 厳格対位法

1. 次の定旋律(バス譜表)上に、任意のハ音記号を用いて移勢と4分音符による3声の混合類を作成せよ。

それぞれの対旋律をどの声部に置くかは自由。

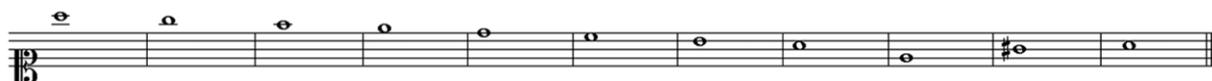
尚、定旋律の他声部への置き換えはしない。移調または移旋はおこなわないものとする。



2. 次の定旋律(ソプラノ譜表)を高声部として、3声の華麗対位法を作成せよ。

尚、対旋律は、バス、テノール、アルトのいずれかの音部記号を用いること。

定旋律の他声部への置き換えはしない。移調または移旋はおこなわないものとする。



##### 2. コラール

次のコラール旋律をバス、テノール、アルト記号を用いて、四声体で作成せよ。

###### Choral









科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
---	----------------	-----------

**声楽科志願者に対する注意事項**

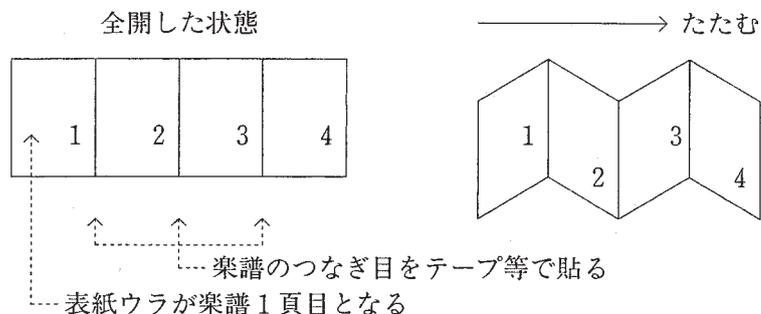
**1. 試験曲について**

- (1) 第1回課題選択曲と第2回自由曲とは同一系統でなくとも良い。例えば、第1回選択課題曲においてB. 外国曲・イタリアの曲を選んだとしても、第2回自由曲が日本歌曲であっても良い。
- (2) 試験の際の演奏は、第1回、第2回とも暗譜とする。(ピアノの伴奏)  
 第1回A. およびB. の課題選択曲ともいずれの調で演奏しても良い。ただし、B. 外国曲の課題選択曲は原語歌詞により演奏すること。第2回自由曲は、歌曲(および一般に歌曲として扱われている古典アリアを含む)の場合、いずれの調で演奏しても良いが、オペラおよびオラトリオ等のアリアは原調で演奏すること。(ただし、オペラのアリアで慣習的に移調が認められている場合を除く。)
- (3) 志願者の演奏に与えられる時間は、次のとおりである。  
 第1回試験 2曲合わせて4分以内  
 第2回試験 4分以内
- 試験官の指示により演奏の途中で切ることがあるが、志願者の評価に不利になるものではない。
- (4) 伴奏者は本学で用意する。志願者が試験時に伴奏者を同伴することは認めない。
- (5) 志願者は、出願時提出する「受験曲目提出用紙」の写し(コピー)を、試験当日持参すること。

**2. 楽譜について**

- (1) 志願者が選択した第1回課題選択曲および第2回自由曲のためのピアノ伴奏用の楽譜は、志願者が出願時に提出すること。楽譜提出後の曲目、調性等の変更は一切認めない。
- (2) 提出する楽譜は、次の要領により整えること。
- ・ 楽譜の大きさは、1ページ 縦30cm×横22cmまたはA4縦とする。
  - ・ 楽譜には声部に加え、ピアノ伴奏部と歌詞が記載されていること。手書きの場合には、黒のペンまたはボールペンで清書すること。
  - ・ 楽譜は、印刷された楽譜でも良いが、大きさが前記の大きさと異なる場合には、規定の大きさの台紙に貼り付けること。
  - ・ 楽譜は、1冊に合本せず、1曲ごとに画用紙程度の厚さの表紙をつけ、必要事項を記入したうえ、「提出楽譜表紙貼付票(入学願書等提出書類に綴じ込み)」を表紙の左上隅に貼付すること。なお、表紙と同様な裏表紙を付ける必要はない。
  - ・ 楽譜は、伴奏者が見やすく、めくりやすくするために折本仕立て(下図参照)にして、各頁を全開できるように製本すること。

(4ページの楽譜の場合)



- (3) 楽譜の提出に当たっては本学部所定の「音楽学部声楽科伴奏楽譜提出封筒」により、「書留速達郵便」により郵送すること。この封筒内に、提出楽譜以外の願書等を絶対に同封しないこと。同封した場合には、受験できないことがある。







科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲	
器 弦	ヴァイオリン (Vn)	第一回	(B) Paganini : 24 Caprices Op.1より 第4番 ※繰り返しは無しとする。  (注) すべて暗譜とし、使用する楽譜の版は特に指定しない。 時間の都合により一部を省略させることがある。 演奏は(A)(B)の順とする。
		第二回	(A) J. S. Bach : Partita No.1 ロ短調 (B Minor) BWV1002より Sarabande ※繰り返しは無しとする。 ※ドゥーブル (Double) は無しとする。  (B) Tchaikovsky : Violin Concerto ニ長調 (D Major) Op.35 第1楽章 Allegro moderato (カデンツァの終わりまで)  (注) すべて暗譜とし、使用する楽譜の版は特に指定しない。 (B)はピアノ伴奏付きで演奏する。 (伴奏者は本学で用意する。伴奏者の同伴は認めない。) 時間の都合により一部を省略させることがある。 演奏は(A)(B)の順とする。

#### 補足説明について

平成27年10月8日(木)より配布している「平成28年度東京藝術大学音楽学部・別科入学者選抜試験 試験内容及び課題曲」について、以下のとおり補足説明する。

#### ヴァイオリン

##### 第1回

- (A) 平成27年10月8日発表のとおり  
(B) Paganini : 24 Caprices Op.1より  
第4番  
※繰り返しは無しとする。

(注) 平成27年10月8日発表のとおり

##### 第2回

- (A) J. S. Bach : Partita No.1 ロ短調 (B Minor) BWV1002より  
Sarabande  
※繰り返しは無しとする。  
※ドゥーブル (Double) は無しとする。  
(B) 平成27年10月8日発表のとおり

(注) 平成27年10月8日発表のとおり

※太字下線部分が補足説明箇所となる。

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
器	弦	<p>(A) 音階 Carl Fresch : Scale System (ヴィオラ用に編曲された版〈Carl Fischer 版〉より) ハ短調 (C Minor) で、次のイ、ロ、ハ、ニの各種を下記を参照し、演奏すること。</p> <p>(イ) 音階、分散和音、分散3度、半音階 (ロ) 3度の重音 (ハ) 6度の重音 (ニ) 8度の重音</p> <p>(イ) </p> <p>(ロ) </p> <p>(ハ) </p> <p>(ニ) </p> <p>※指定されたスラーを厳守すること。フィンガリングは自由。 (次ページに続く)</p>
楽	ヴィオラ (Va)	第一回

科	専攻 (声種・楽器等)		試験内容及び試験曲
器 弦  楽 楽	ヴァ イ オ ラ  (Va)		<p>第一回</p> <p>(B) Palaschko : 20 Studies Op.36 より No.14 Vivace</p> <p>(C) J. S. Bach : 無伴奏チェロ組曲第4番変ホ長調 (E b Major) BWV1010 (ヴィオラ用に編曲された版) より Allemande ※繰り返しは無しとし、使用する楽譜の版は特に指定しない。</p> <p>(注) すべて暗譜とする。 時間の都合により一部を省略させることがある。 演奏は(A)(B)(C)の順とする。 使用する楽譜の版は特に指定しない。</p>
			<p>第二回</p> <p>(A) Reger : 無伴奏組曲第1番 ト短調 (G Minor) Op.131d より 第1曲 : Molto sostenuto ※ Henle 版を使用すること。</p> <p>(B) F. A. Hoffmeister : Concerto ニ長調 (D Major) より 第1楽章 Allegro (カデンツァ付き) ※ Henle 版を使用し、カデンツァはCadenza Aを演奏すること。</p> <p>(注) すべて暗譜とする。 (B)はピアノ伴奏付きで演奏する。 (伴奏者は本学で用意する。伴奏者の同伴は認めない。) 時間の都合により一部を省略させることがある。 演奏は(A)(B)の順とする。</p>

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
器 弦	チ エ ロ 第一回	<p>(A) 音階 J. Loeb : Gammes et arpèges ~ Billaudot 版 より 嬰ハ短調 (C # Minor) 譜例を参照のこと。</p> <p>(イ) 4 オクターヴの音階 (指使いは自由) ♩ = 100 前後</p>  <p>(ロ) 4 オクターヴの分散3度 ♩ = 100 前後</p>  <p>(ハ) 4 オクターヴの分散和音 (注) テンポは自由</p>  <p>(ニ) 2 オクターヴの3度の重音 ♩ = 60 前後</p>  <p>(ホ) 2 オクターヴの6度の重音 ♩ = 60 前後</p>  <p>(ヘ) 2 オクターヴの8度の重音 ♩ = 60 前後</p>  <p>※指定されたテンポ，スラー及びフィンガリングをで演奏すること。</p> <p>(B) Duport : 練習曲 より No.12 (E Major) 最初から120小節目まで ※ Peters 版または IMC 版 (International Music Company) を使用すること。</p> <p>(注) すべて暗譜とし，繰り返しはなしとする。 時間の都合により一部を省略させることがある。 演奏は(A)(B)の順とする。</p> <p style="text-align: right;">(次ページに続く)</p>
		楽 楽

科	専攻 (声種・楽器等)		試験内容及び試験曲
器 弦		チエロ (Vc)	<p>第二回</p> <p>(A) J.S.Bach：無伴奏組曲第3番ハ長調 (C Major) BWV1009より Allemande ※繰り返しは無しとする。使用する楽譜の版は特に指定しない。</p> <p>(B) J.Haydn：Concerto ニ長調 (D Major) Hob.VII b-2より 第3楽章 Allegro ※ Henle 版を使用すること。</p> <p>(注) すべて暗譜とする。 (B)はピアノ伴奏付きで演奏する。 (伴奏者は本学で用意する。伴奏者の同伴は認めない。) 時間の都合により一部を省略させることがある。 演奏は(A)(B)の順とする。</p>
	楽 楽		コントラバス (Cb)

※コントラバスの楽譜の版について

指定された楽譜の版で入手が困難な場合は、本学音楽学部教務係に連絡すること。

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
器 弦	コントラバス (Cb)	<p>F.A.Hoffmeister : Konzert Nr.1 ハ長調 (C Major) より 第1楽章 Allegro 第2楽章 Adagio (56小節目まで) ※ホフマイスター版とする。</p> <p>第二回 (注) すべて暗譜とする。 ピアノ伴奏付きで演奏すること。 (伴奏者は本学で用意する。伴奏者の同伴は認めない。) ノーマルチューニングで演奏すること。 伴奏の前奏部分の省略は当日指定する。 時間の都合により一部を省略させることがある。 楽器の貸与はしない。</p>
	ハープ (Hp)	<p>第一回 (A) Ed.Larivière : Exercices et Études pour La Harpe No36 : 1ere Étude (B) P.D.Paradisi : Toccata (H.Renié : Les Classiques de La Harpe 4e Recueil) (C) M.Tournier : Études de Concert : Au matin</p> <p>(注) すべて暗譜とし、使用する楽譜の版は特に指定しない。 時間の都合により一部を省略させることがある。 演奏は(A)(B)(C)の順とする。</p> <p>第二回 L.Spohr : Fantasie c-moll für Harfe Op.35 (注) すべて暗譜とし、繰り返しは無しとする。 使用する楽譜の版は特に指定しない。 時間の都合により一部を省略させることがある。</p>

#### 補足説明について

平成27年10月8日(木)より配布している「平成28年度東京藝術大学音楽学部・別科入学者選抜試験 試験内容及び課題曲」について、以下のとおり補足説明する。

#### コントラバス

第1回 平成27年10月8日発表のとおり

#### 第2回

F.A.Hoffmeister : Konzert Nr.1 ハ長調 (C Major) より  
第1楽章 Allegro  
第2楽章 Adagio (56小節目まで)

※ホフマイスター版とする。

(注) 平成27年10月8日発表のとおり

※太字下線部分が補足説明箇所となる。

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲		
器	管	<p>◎木管楽器共通注意事項 ※出版社の指定のないものは、何版にても可。</p> <p><b>第1回</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音階 全ての調の中より当日指定する。 *クラリネットは各調、次の音型（主和音）も演奏する。 (例) </li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>音感適性検査 ピアノで弾いた音に対して、それぞれの楽器で同じ音を奏する。ただし、楽器によってはこの試験を課さないこともある。</li> <li>課題曲 楽譜を使用してもよい。</li> </ul> <p><b>第2回</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>課題曲 暗譜とする。 課題曲には、ピアノ伴奏をつける。ピアノ伴奏者は、本学において用意する。</li> <li>自由曲 各専攻楽器欄参照。 楽譜を使用してもよい。</li> </ul>		
		打	木	<p><b>第一回</b></p> <p>(1) A. B. Fürstenau : 24 übungen op.125より No.23</p> <p>(2) J. S. Bach : BWV1013より Sarabande (繰り返し無し、任意の強弱・スラーを付けてもよい。 tr.以外の装飾音符を付けてはならない。)</p>
		楽		フルート (Fl)
		楽	管	<p><b>第一回</b></p> <p>(1) L. Bassi : Twenty-Seven Virtuoso Studies for Saxophone or Oboe No.2, 3, 5, 7, 11, 12, 13, 15, 20, 21 以上10曲の中より当日指定する (Carl Fischer 版)</p> <p><b>第二回</b></p> <p>(1) F. Krommer : Concerto in F major Op.52より第1楽章 (Musica Rara 版)</p> <p>(2) G. Ph. Telemann : Zwölf Fantasien für Querflöte ohne Baß より第3番 h-Moll (何版にても可)</p>

科		専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲		
器	管	木	クラリネット (Cl)	<p>第一回</p> <p>(1) E. Cavallini : 30 Capricci No.25~28の4曲 (Ricordi 版)  (2) A. Uhl : 48 Etüden für Klarinette No.3~8の6曲 (Schott 版)  (3) C. Stamitz : Klarinetten-Konzert Nr.3 B-Dur (何版にても可)  より第1楽章, 第2楽章  (注) (1)(2)(3)とも演奏箇所は当日指定する。</p> <p>第二回</p> <p>(1) C. M. v. Weber : Konzert Nr.1 f-moll für Klarinette und Orchester Op.73 第1楽章  (ベールマンのカデンツァを含む)  C. M. v. Weber : Konzert Nr.2 Es-Dur für Klarinette und Orchester Op.74 第1楽章  上記2曲のうち, 1曲を選んで演奏すること。  (2) a) U. Delécluse : 14 Grandes Etudes pour la Clarinette sur des motifs d'œuvres classiques et modernes (Leduc 版) より第3, 5, 6, 8, 9, 12, 14番の中より任意の曲を1曲  b) A. Uhl : 48 Etüden für Klarinette (Schott 版) より No.12  c) G. Donizetti : Studie 最初から101小節目まで  d) G. Jacob : Five Pieces for solo clarinet より  2.Waltz と5.Scherzo and Trio  上記 a) ~ d) の中から, ひとつを選んで演奏すること。</p>	
			打	ファゴット (Fg)	<p>第一回</p> <p>J.Weissenborn : Studies for Bassoon Op.8 Vol.II (何版にても可)  No.1~No.21の中から当日指定する。</p> <p>第二回</p> <p>(1) K. Stamitz : Konzert F-Dur für Fagott und Orchester 第1楽章 (Sikorski 版) カデンツァあり  (2) J. Weissenborn : Studies for Bassoon Op.8 Vol.II (何版にても可) No.22~No.43より任意の1曲を演奏すること。</p>
		楽		管	サクソフォーン (Sx)

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
器管	<p>◎金管楽器共通注意事項</p> <p>※出版社の指定のないものは、何版にても可。</p> <p><b>第1回</b></p> <p>(1) 音階（トランペットを除く） 全ての調の中より当日指定する。但し、下記のリズムパターンで演奏すること。</p>  <p>(例：ユーフォニアム)</p> <p>(2) 課題曲 (注) ホルン・ユーフォニアムは楽譜を持参して使用すること。 それ以外の楽器で暗譜を指定されたもの以外は当日、試験所に用意された楽譜を使用すること。</p> <p><b>第2回</b></p> <p>(1) 課題曲 (注) 特に指定したもの以外は、楽譜を使用してもよい。 課題曲にはピアノ伴奏をつける。ピアノ伴奏者は本学において用意する。</p>	
		打金
楽	<p>管</p> <p>トランペット (Tp)</p>	

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲	
器 管 金	打	◎テナー・トロンボーン, バス・トロンボーン共通注意事項 E. Remington : Warm-Up Exercises for Trombone (Accura Music 版) より下記の部分  第7ポジションまで演奏のこと。(注) 暗譜とする。	
		テナー・トロンボーン (TTb)	第一回 C. Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社版) (A) No.26 暗譜で演奏すること。 (B) No.29, 34, 35, 36, 37, 39, 41, 42, 43, 44の中から当日指定する。楽譜は使用して良い。
			第二回 A. Guilmant : Morceau Symphonique Op.88 (Schott 版または Kalmus 版) (注) 暗譜とする。
		バス・トロンボーン (BTb)	第一回 C. Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社版) (A) No.(19) 暗譜で演奏すること。 (B) No.(37), (42), 43, 46, (49), 50, (52), (54), 55, 56の中から当日指定する。楽譜は使用して良い。 (注) ( ) の曲は1オクターブ下で演奏すること。他は記譜通り。
			第二回 E. Ewazen : Concerto for Tuba or Bass Trombone 第1楽章 (ITA Southern 版) (注) 暗譜とする。
		ユーフォニアム (Euph)	第一回 C. Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社版) No.6~No.33 (No.29は除く) より, 当日指定する。
			第二回 P. V. De la Nux : Solo de Concours pour Trombone et piano (Leduc 版), Concert Piece for Trombone or Baritone and Piano (Southern music company 版) どちらの版でもよい。 (注) 暗譜とする。
		チューバ (Tu)	第一回 C. Kopprasch : Sixty Selected Studies for Tuba (Hoffmeister 版) No.6~No.33の中より, 当日指定する。
			第二回 A. Lebedjew : Konzert für Tuba und Klavier (Konzert Nr.1) (Hoffmeister 版) (注) 暗譜とする。 ※第1回, 第2回とも, C管かB♭管を使用すること。

一部訂正について

平成27年10月8日(木)より配布している「平成28年度東京藝術大学音楽学部・別科入学者選抜試験 試験内容及び課題曲」の一部に誤りがあったので, 以下のとおり訂正する。

ホルン  
(誤)

第一回

(2) Franz Strauss : **Tema** und Variationen op.13 (Muzikverlag Zimmerman) より  
Introduktion (7小節目4拍目~27小節目1拍目まで)



(正)

第一回

(2) Franz Strauss : **Thema** und Variationen op.13 (Muzikverlag Zimmerman) より  
Introduktion (7小節目4拍目~27小節目1拍目まで)

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
器	管	<p>◎打楽器共通注意事項</p> <p><b>第1回</b> 1. リズム感のテスト 2. 任意の打楽器を用いてリズムをとりながら日本歌曲「浜辺の歌（成田為三作曲）」を歌詞をつけて歌う。 3. 聴音 ピアノにより音を与え音名を答えさせる。</p> <p><b>第2回</b> 1. 任意の打楽器を用いて音楽表現を試みる。(楽器のセットアップを含めて2分以内) 2. 初見視奏</p>
		打
楽	楽	



科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
器	<p>◎古楽共通注意事項</p> <p>① ソロおよび伴奏に使えるチェンバロは、2段鍵盤フレンチタイプ(a'=415, 8'8"4', FF-f")のみとする。</p> <p>② バロックヴァイオリン、リコーダーに必要なチェンバロ伴奏者は同伴すること。</p> <p>③ すべての受験生は、受験曲目提出用紙に演奏する作品名を書いて、出願とともに教務係に提出すること。</p> <p>④ 各自の演奏する楽譜を3部ずつ用意して演奏順に綴じ(A4判に揃え、左上端を1箇所ホチキスで止める)、出願とともに教務係に送付すること。所定の出願用封筒に用意した楽譜が入りきらない場合、出願書類は所定の封筒にて提出し、当該楽譜のみ「古楽受験用楽譜在中」と表書きした任意の封筒にて出願と同時に書留速達により郵送すること。このとき、声楽科伴奏楽譜送付用封筒を用いてはならない。</p>	
	<p>古 チェンバロ (Cemb)</p>	<p>I. 下記の課題曲を演奏する。(当日一部省略を指示することがある。繰り返し記号による繰り返しはすべて省略)</p> <p>① J. S. Bach : Das wohltemperierte Klavier 第1巻より Praeludium und Fuga Nr.4, cis-Moll (BWV 849)</p> <p>② J. S. Bach : Das wohltemperierte Klavier 第2巻より Praeludium und Fuga Nr.1, C-Dur (BWV 870)</p> <p>③ 次の3曲の D. Scarlatti のソナタより任意の2曲 K.87 (h-Moll), K.104 (G-Dur), K.201 (G-Dur)</p> <p>④ G. Böhm : Suite, c-Moll (全楽章)</p> <p>II. 当日課する通奏低音課題を、チェンバロで実施する。(予見時間5分)</p>
	<p>楽 バロックヴァイオリン (BVn)</p>	<p>I. 下記の課題曲を演奏する。(当日一部省略を指示することがある。)</p> <p>① 次のイ)かロ) どちらかから任意の1曲を演奏する。 イ) D. Castello または G. B. Fontana または G. P. Cima のソナタから1曲 ロ) F. Geminiani : The Art of playing on the violin (1751) の Composition から1曲</p> <p>② F. Couperin : 任意のコンセールから2つの楽章</p> <p>③ G. F. Handel, A. Corelli, J.-M. Leclair のソナタより任意の1曲</p> <p>II. 当日課する通奏低音課題を、チェンバロで実施する。(予見時間5分)</p>
<p>楽 リコーダー (Rec)</p>	<p>I. 下記の課題曲を演奏する。(当日一部省略を指示することがある。)</p> <p>① Jacob van Eyck : 「笛の楽園」より任意の1曲 (ソプラノリコーダーを使用。ピッチは自由)</p> <p>② Jacques Martin Hotteterre : Suite 第3番 Sonate (Oeuvre Ve 1715年)より任意の3つの楽章 (バロックタイプのトレブルを使用。ピッチはa'=415。へ長調に移調して演奏。)</p> <p>③ Francesco Barsanti : 作品1 (1724年)より任意のソナタ1曲 全楽章 (バロックタイプのトレブルを使用。ピッチはa'=415)</p> <p>II. 当日課する通奏低音課題を、チェンバロで実施する。(予見時間5分)</p>	

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
指揮		<p>第一回</p> <p>(1) 聴音 (a)単旋律及び複旋律(ピアノによる) (b)受験者に楽譜を与え、試験委員の行う演奏との相違点を指摘させ、聴覚的判断力、和声感覚の能力を試験する。</p> <p>(2) 新曲視唱</p> <p>(3) 課題曲 Ludwig van Beethoven : Symphonie Nr.5 op.67 全楽章の中より当日、部分を指定して指揮させる。(ピアノによる)</p>
		<p>第二回</p> <p>(1) 課題曲 Bartók Béla : Divertimento für Streichorchester 第1楽章の中より当日、部分を指定して指揮させる。(合奏による)</p> <p>(2) ピアノによる簡易なスコア初見視奏</p> <p>(3) 器楽試験 弦楽器(ハープを含む)、管打楽器又はピアノのいずれかにより任意の曲を演奏させる。</p> <p>(4) 適性検査 (ハーモニー感、リズム感等)</p> <p>(5) 音楽一般に関する試問</p> <p>(注1) 第2回の(3)器楽試験においては、弦楽器及び管打楽器の種類選択は任意とし、楽譜視奏も差し支えないが、すべて無伴奏とする。</p> <p>(注2) 前号の器楽試験をピアノで受ける場合も、副科実技等の副科ピアノ試験は、別に受けなければならない。</p>

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲																						
<p>◎邦楽共通注意事項            受験者は、志願する部門に応じて下記の課題曲および自由曲を暗譜で演奏すること。            ただし、長唄・常磐津・清元の各志願者は、唄本（歌詞のみ）を用いてよい。            各専攻とも、二次試験に面接を課す。</p>																								
邦楽	三味線 長唄三味線 常磐津三味線 清元三味線 長唄 常磐津 清元	<p>課題曲</p> <table border="1" data-bbox="624 456 1409 949"> <thead> <tr> <th>志願部門</th> <th>課題曲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長唄三味線</td> <td>「越後獅子」(九世杵屋六左衛門作曲)</td> </tr> <tr> <td>長唄</td> <td>「勸進帳」(四世杵屋六三郎作曲) (延年の舞・瀧流し合方なし)</td> </tr> <tr> <td>常磐津三味線</td> <td>「夕月船頭」(五世岸澤式佐作曲)</td> </tr> <tr> <td>常磐津</td> <td>「松島」(六世岸澤式佐作曲)</td> </tr> <tr> <td>清元三味線</td> <td>「六玉川」(三世鳥羽屋里長作曲)</td> </tr> <tr> <td>清元</td> <td>「子守」(初世清元斎兵衛作曲)</td> </tr> <tr> <td>邦楽囃子(小鼓)</td> <td>「新曲浦島」</td> </tr> <tr> <td>”(大鼓)</td> <td>(十三世杵屋六左衛門・五世杵屋勘五郎作曲)</td> </tr> <tr> <td>”(太鼓)</td> <td>「花見踊」(三世杵屋正治郎作曲)</td> </tr> <tr> <td>”(笛)</td> <td>「鶴亀」(十世杵屋六左衛門作曲)</td> </tr> </tbody> </table> <p>当日、この曲の中より試験官の指定する曲とその箇所を演奏すること。</p>	志願部門	課題曲	長唄三味線	「越後獅子」(九世杵屋六左衛門作曲)	長唄	「勸進帳」(四世杵屋六三郎作曲) (延年の舞・瀧流し合方なし)	常磐津三味線	「夕月船頭」(五世岸澤式佐作曲)	常磐津	「松島」(六世岸澤式佐作曲)	清元三味線	「六玉川」(三世鳥羽屋里長作曲)	清元	「子守」(初世清元斎兵衛作曲)	邦楽囃子(小鼓)	「新曲浦島」	”(大鼓)	(十三世杵屋六左衛門・五世杵屋勘五郎作曲)	”(太鼓)	「花見踊」(三世杵屋正治郎作曲)	”(笛)	「鶴亀」(十世杵屋六左衛門作曲)
	志願部門	課題曲																						
長唄三味線	「越後獅子」(九世杵屋六左衛門作曲)																							
長唄	「勸進帳」(四世杵屋六三郎作曲) (延年の舞・瀧流し合方なし)																							
常磐津三味線	「夕月船頭」(五世岸澤式佐作曲)																							
常磐津	「松島」(六世岸澤式佐作曲)																							
清元三味線	「六玉川」(三世鳥羽屋里長作曲)																							
清元	「子守」(初世清元斎兵衛作曲)																							
邦楽囃子(小鼓)	「新曲浦島」																							
”(大鼓)	(十三世杵屋六左衛門・五世杵屋勘五郎作曲)																							
”(太鼓)	「花見踊」(三世杵屋正治郎作曲)																							
”(笛)	「鶴亀」(十世杵屋六左衛門作曲)																							
邦楽囃子	<p>第一回</p> <p>A. 自由曲1曲 明治45年(西暦1912年)以前に作曲された曲で、第1回課題曲を除いたものを選ぶこと。時間を要する曲で、上・中・下にわかれているものは、それぞれ各1曲とする。</p> <p>B. 志願部門の課題曲より、下記区分に従い1曲を選ぶこと。</p> <table border="1" data-bbox="703 1205 1262 1559"> <thead> <tr> <th>志願部門</th> <th>選択分野</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長唄三味線</td> <td>長唄</td> </tr> <tr> <td>常磐津三味線</td> <td>常磐津</td> </tr> <tr> <td>清元三味線</td> <td>清元</td> </tr> <tr> <td>長唄</td> <td>長唄三味線</td> </tr> <tr> <td>常磐津</td> <td>常磐津三味線</td> </tr> <tr> <td>清元</td> <td>清元三味線</td> </tr> <tr> <td>邦楽囃子</td> <td>長唄三味線又は長唄</td> </tr> </tbody> </table> <p>第二回</p>	志願部門	選択分野	長唄三味線	長唄	常磐津三味線	常磐津	清元三味線	清元	長唄	長唄三味線	常磐津	常磐津三味線	清元	清元三味線	邦楽囃子	長唄三味線又は長唄							
志願部門	選択分野																							
長唄三味線	長唄																							
常磐津三味線	常磐津																							
清元三味線	清元																							
長唄	長唄三味線																							
常磐津	常磐津三味線																							
清元	清元三味線																							
邦楽囃子	長唄三味線又は長唄																							
<p>(長唄三味線・常磐津三味線・清元三味線・長唄・常磐津・清元・邦楽囃子共通注意事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>三味線の試験においては、受験者には三味線のみを弾かせ、唄・浄瑠璃は係員が担当をする。唄・浄瑠璃の試験においてはその反対。</li> <li>邦楽囃子の試験においては、「地」は係員が担当する。</li> <li>上記1.及び2.に関わらず、各自の選んだ自由曲について、本学部が伴奏者の同伴を必要と判断した場合は、その旨を平成28年2月中旬までに試験時連絡先へ通知する。この場合、受験者は試験当日伴奏者を同伴すること。</li> <li>邦楽囃子の楽器は各自持参を原則とするが、長唄三味線は本学で用意した楽器を使用する。常磐津・清元三味線の楽器は各自持参すること。</li> <li>邦楽囃子のうち、笛の受験者は能管及び4本から8本までの調子の竹笛を持参すること。竹笛の調子は試験当日に指定する。</li> <li>唄、浄瑠璃の試験に関しては、扇子を持参すること。</li> <li>邦楽一般及び三味線音楽について簡単な試問・調絃を行うことがある。</li> <li>邦楽囃子第2回Bにおいては、譜面使用可とする。</li> </ol>																								

科		専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
邦楽	邦楽 囃子	現代邦楽囃子	第一回 課題曲 「颯踏」(長澤勝俊作曲) 打楽器のパートは当日指定する。
			第二回 (1) 課題曲 笛・打楽器それぞれ下記の曲より1曲を当日指定する。 笛：「ダンスコンセルタント 第1番・第3章 秋そして」 (三本稔作曲) 「野曲 鬢多々良」(伊福部昭作曲) 打楽器：「子どものための組曲」(長澤勝俊作曲) 「秋の一日」(長澤勝俊作曲) 「邦楽器のためのインプロヴィゼーション」 (秋岸寛久作曲) (2) 五線譜による初見視奏 笛：六本と八本の笛を準備すること。 打楽器：大太鼓による初見視奏。 (3) 口頭試問
			(注) 1. 第1, 2回試験は譜面を使用してもよい。 2. 第1, 2回試験の打楽器は本学で準備した楽器を使用すること。 3. 笛, バチは各自準備すること。 4. 第1, 2回試験の打楽器, 笛パートは当日指定する。 5. 第1, 2回試験とも独奏で演奏すること。 6. 課題曲の譜面が入手困難な場合は, 本学音楽学部教務係に連絡すること。 7. 第1, 2回試験の笛は竹笛(篠笛)をさす。
邦楽	日本舞踊		第一回 課題曲2曲 男形 長唄 「供奴」 女形 常磐津 「屋敷娘」  本学の用意したテープで, 両曲, 試験官の指定した箇所を踊る。 (注) 長唄はコロムビア版, 芳村伊十郎全集, 常磐津はビクター版, 邦楽舞踊シリーズ「常磐津」より, 常磐津千東勢太夫の演奏による録音テープを使用する。
			第二回 A. 自由曲1曲 課題曲を除いた曲を選ぶ。 当日録音テープを持参, 提出し, 試験官の指定する箇所を踊る。 B. 口頭試問 舞踊に関する基本的な試問を行う。 C. 本学で用意した音を聴いて, その場で振りをつける。
			(注) 第1回・第2回ともに小道具は用いず, 扇子及び手拭いをもって代用すること。
邦楽	箏曲	山田流	第一回 箏：課題曲1曲 下記の中から1曲を選択する。 「江の島曲」 山田検校 作曲 「白の聲」 山登松齡 作曲 「都の春」 三世 山勢松韻 作曲
			第二回 箏：自由曲1曲 第1回の受験曲を除いた古典・近代・現代曲 (第1回で受験した曲以外の課題曲2曲からも選択できる) ※別科を併願する場合は, 別科課題曲を除く。 ※箏の代わりに三絃で受験しても良い。 三絃：課題曲1曲 下記の中から1曲を選択する。 「秋の七草」 文部省音楽取調掛 作曲 「子の日の遊」 二世 山木太賀 作曲  (次ページに続く)

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲	
邦 箏	生 田 流	第一回	箏：課題曲 1 曲 下記の中から 2 曲を選択し、試験当日そのうちの 1 曲を受験者が抽選により決定する。 「ままの川」 (菊岡検校作曲・松野検校箏手付) 一は壺越(D) 「萩の露」 (幾山検校作曲・八重崎検校箏手付) 一は壺越(D) 「越後獅子」 (峰崎勾当作曲・八重崎検校箏手付) 一は双調(G) 「楓の花 (本手)」 (松坂春栄作曲) 一は神仙(C)
		第二回	箏：自由曲 1 曲 1909 (明治42) 年以降に作曲、又は手付された曲。ただし、楽章単位ではなく 1 曲単位で受験すること。 三絃：課題曲 1 曲 下記の中から 1 曲を選択する。 「八段」 (八橋検校作曲) I の糸は壺越(D) 「千代の寿」 (宮城道雄作曲) I の糸は壺越(D) 「末の契り」 (松浦検校作曲) I の糸は壺越(D)
楽 曲	現 代 箏 曲	第一回	箏：課題曲 2 曲 下記 4 曲のうち 2 曲を選び、曲目提出用紙に記入し提出すること。 「箏独奏による主題と六つの変奏 “さくら”」 (藤井凡大作曲) 「鳥のように」 (沢井忠夫作曲) 「綺羅」 (杵屋正邦作曲) 「手事四綴」 (肥後一郎作曲)
		第二回	(1) 箏：自由曲 1 曲 ・1950年以降作曲の箏独奏のための楽曲を選ぶこと。 ・各自が演奏する楽曲の楽譜を 1 部提出すること。 ・楽譜の書式は問わない (五線譜・縦譜・横譜等)。 ・楽譜は任意の封筒を使用して、書留速達扱いで願書とは別便で、同時郵送すること。送り先は願書と同所とする。 ・提出された楽譜は返却しない。 (2) 初見視奏 (3) 口頭試問
<b>(箏曲共通注意事項)</b> 1. 第 1 回・第 2 回試験とも暗譜で演奏すること。 2. 試験は、箏は立奏 (椅子) で行う。三絃は立奏でも座奏でもよい。 3. 演奏箇所は試験の際に指示する。 4. 第 2 回試験 (箏) は、曲名・作曲者名を曲目提出用紙に記入すること。また本手・替手・高音・低音・第 1・第 2 などの区別のある曲は、どのパートで受験するか曲目提出用紙に記入すること。 5. 邦楽一般、及び箏曲について簡単な試問を行うことがある。			
<b>(山田流試験に関する注意事項)</b> 1. 原則として箏・三絃ともに各自持参の楽器を使用するが、本学で用意した箏 (テトロン糸 18 匁)・三絃 (絹糸) の使用も可能である。なお、曲目提出用紙の所定欄に持参・借用の区別を記入すること。			
<b>(生田流試験に関する注意事項)</b> 1. 箏は本学で用意した楽器 (テトロン糸 18 匁) を使用する。 2. 三絃は原則として各自の楽器を使用するが、本学で用意した楽器 (絹糸) を使用することもできる。(曲目提出用紙に、持参・借用の区別を記入すること)			
<b>(現代箏曲試験に関する注意事項)</b> 1. 第 1 回、第 2 回試験とも課題曲・自由曲は暗譜で演奏する。 2. 演奏は立奏 (椅子) で行う。 3. 演奏範囲はそれぞれ、曲の冒頭から試験官が止めるまで演奏すること。任意の箇所を指定する場合もある。 4. 箏は本学で用意した楽器 (テトロン糸) を使用する。 5. 山田流・生田流どちらの箏で受験しても構わない。			

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲	
邦	尺八	第一回	<p>選択曲 1曲            下記のうちから1曲を選んで演奏する。            琴古流「三谷菅垣」「雲井獅子」            都山流「木枯」「朝風」(流祖中尾都山作曲)            五孔尺八の一尺八寸管(竹製)を用いること。</p>
		第二回	<p>課題曲 1曲 尺八本曲            琴古流「一二三鉢返調」            都山流「峰の月」(流祖中尾都山作曲)</p> <p>選択曲 2曲            ①外曲古典            下記のうちから1曲を選んで演奏する。            「都の春」「近江八景」「楫枕」「茶音頭」            ②外曲新曲            下記のうちから1曲を選んで演奏する。            「赤壁賦」(中能島欣一作曲)            「春の訪れ」(宮城道雄作曲)            「春の海」(宮城道雄作曲)            ※②外曲新曲については、五孔の一尺六寸管(竹製)を用いること。            ※琴古流の「赤壁賦」は、邦楽社刊箏譜「赤壁賦」(中能島欣一著)に掲載の尺八譜による。</p> <p>ア. 五孔尺八の一尺八寸管(竹製)を用いること(選択曲②は除く)。            イ. 演奏箇所は、試験の際に指示する。            ウ. 演奏は、椅子又は立姿勢で行う。            エ. 邦楽一般及び尺八について簡単な試問を行うことがある。</p>
		<p>(注)1. 尺八受験者は出願の際、琴古流・都山流のいずれかを選択し、出願すること。            2. 全曲暗譜とする。</p>	
楽	能 (囃子を除く)	第一回	<p>(イ) シテ方(観世流及び宝生流)            (A)謡曲 「紅葉狩」サシより中入まで、及び「鶉飼」待謡より            終わりまで            (B)仕舞 「田村」キリ</p> <p>(ロ) ワキ方(下掛宝生流)            (A)謡曲 「紅葉狩」サシより中入まで、及び「鶉飼」待謡より            終わりまで            (B)仕舞 「春栄」</p> <p>(ハ) 狂言方(和泉流)            (A)謡曲 「風車」および「柳の下」            (B)小舞 「花の袖」</p> <p>ただし、謡曲の謡う部分については、当日指定する。</p>
		第二回	<p>謡曲及び仕舞または小舞自由曲1曲ずつ(ただし、第1回および別科の課題曲を除く)。            謡曲はツヨ吟とヨワ吟のある曲を選ぶこと。謡曲の謡う部分については、当日指定する。</p>
		<p>(注)            1. 第1回、第2回とも観世流、宝生流、下掛宝生流、和泉流のいずれかで受験すること。            2. 能楽について簡単な試問を行うことがある。            3. 受験者は着物、袴、白足袋着用のこと。</p>	

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲	
邦	能楽 囃子	第一回	囃子 下記(イ)～(ニ)より受験する楽器及び課題曲をひとつ選択。 (イ) 笛 (一噌流) 「早舞」三段 (ロ) 小鼓 (幸流) 「天鼓」キリ (ハ) 大鼓 (高安流) 「屋島」キリ (ニ) 太鼓 (観世流) 「山姥」キリ
		第二回	囃子 自由曲 (ただし、第1回及び別科の課題曲を除く。) 謡曲 下記の中から1曲を自由選択。(ただし、観世流または宝生流のいずれかで受験すること。) (イ) 「紅葉狩」 サシより中入まで (ロ) 「鶴飼」 待謡より終わりまで (ハ) 「竹生島」 クセ上げより「下界の龍神現れたり」まで
		(注) 1. 上記の曲を一噌流、幸流、高安流、観世流(太鼓)のいずれかで受験すること。 2. 笛、小鼓、太鼓の試験に際しては、各自持参の楽器を使用してもよい。ただし、大鼓については、楽器を使用しない。 3. 能楽について簡単な試問を行うことがある。 4. 受験者は着物、袴、白足袋着用のこと。	
楽	雅楽 笙 篳 龍 笛	第一回	(A) 下記の3曲より1曲を指定し、暗譜による「唱歌テスト」を行う。 (B) 下記の3曲より1曲を指定し、暗譜による「音取」及び「実技テスト」を行う。  第1回試験課題曲 1. 壱越調「迦陵頻急」 2. 双調「武徳楽」 3. 太食調「抜頭」
		第二回	(C) 下記の課題曲により第1回試験の(A)及び(B)の試験を再度行う。 (D) 「舞」の為のリズムテスト (E) 「雅楽」についての試問をする。  第2回試験課題曲 1. 平調「三臺塩急」 2. 黄鐘調「越殿楽」 3. 盤渉調「千秋楽」
		(注) 1. 雅楽専攻で受験できる楽器は「笙」、「篳篥」、「龍笛」各専攻の竹製楽器とする。 2. 実技試験は、管絃吹で行う。	

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲	
楽 理		第一回	1. 国語（試験時間：2時間） 国語総合・現代文B・古典B  2. 外国語（試験時間：2時間） 英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ）、ドイツ語、フランス語のうち1科目 を選択する。
		第二回	小論文（含、口述試問。試験時間：筆記2時間） 音楽学の学習に必要な基礎的能力を問う課題文。（課題は当日出題す る。）
音 楽 環 境 創 造		第一回	学力検査〔音楽（音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）〕（60分）
		第二回	小論文および面接（自己表現を含む）  ●小論文（120分）  ●面接（20分）自己表現を含む。 ○自己表現 下記の1～3のいずれかを選択し（受験票に記入）、制限時間内（5 分）で行うこと。 1. 演奏（声を含む） ※音楽能力・音楽的感性をアピールしたい場合 2. パフォーマンス（身体表現、舞踊、朗読等） ※身体表現能力・演劇的感性をアピールしたい場合 3. プレゼンテーション （パネルやチャート図等によるプランの提示、楽譜等の作 品、研究計画書等） ※演奏技術・身体技能よりも、企画・アイデアをアピールし たい場合  （自己表現の注意事項） ・1人でできるもの（伴奏者・共演者は認めない。） ・セッティングを含めて5分以内で終了すること。 ・グランドピアノは用意されている。それ以外の楽器は各自持 参すること。 ・AV機器（CD/DVD、ステレオミニフォンプラグのケーブル） は用意されている。 ・コンピュータを持参して使用することは可能だが、機器につ いてのサポートは一切与えられないので、全て自己責任にて 用意すること。 ・「2. パフォーマンス」を行う試験場の床は一般的なフローリ ングである。床を傷つけないような演目、靴、衣装であるこ と。 （パフォーマンスで使用できる広さは、幅約8m×奥行約 6m。天井の高さは約2m30cm。）
●音楽環境創造科受験者の志望理由書の提出について 音楽環境創造科志願者は、志望理由書（800字以内。本学所定の用紙に手書きで記入のこと）を願書 とともに提出すること。志望理由書は面接時の参考とする。			

## イ. 音楽に関する基礎能力検査及び副科実技等

### ①音楽に関する基礎能力検査

#### 1. 筆記試験

##### a) 聴音書き取り (試験時間: 約30分)

- |            |   |                                           |
|------------|---|-------------------------------------------|
| 単旋律 (1題)   | } | 作曲科, 声楽科, 器楽科及び楽理科志願者に課す。<br>(43ページの例題程度) |
| 複旋律 (1題)   |   |                                           |
| 四声体和声 (1題) |   |                                           |

##### b) 楽典 (試験時間 1時間)

音楽環境創造科を除く全科の志願者に課す。和声・楽式等作曲法の内容は含まない。

#### 2. 実技試験

##### a) 新曲視唱 (1題)

歌詞を伴わない初見唱。作曲科, 声楽科, 器楽科及び楽理科志願者に課す。  
(44ページの例題程度)

##### b) リズム課題 (1題)

作曲科, 声楽科, 器楽科及び楽理科志願者に課す。(44ページの例題程度)

聴音書き取り例題

単旋律

Single Melody example. The score consists of three staves in 6/8 time, with a tempo marking of  $\text{♩} = 52$ . The key signature has one flat (B-flat). The melody is written in the treble clef and features a mix of eighth and sixteenth notes, including some triplets and slurs.

複旋律

Complex Melody example. The score consists of two staves in 2/4 time, with a tempo marking of  $\text{♩} = 54$ . The key signature has two flats (B-flat and E-flat). The melody is written in the treble clef and features a mix of eighth and sixteenth notes, including triplets and sixteenth-note runs. The bass line provides a simple accompaniment.

四声体和声

Four-part Harmony example. The score consists of two staves in 4/4 time, with a tempo marking of  $\text{♩} = 52$ . The key signature has one sharp (F-sharp). The melody is written in the treble clef and features a mix of quarter and eighth notes. The bass line provides a simple accompaniment.

## 新 曲 視 唱 例 題

●作曲科，器楽科，楽理科志願者

$\text{♩} = 60$

●声楽科志願者

$\text{♩} = 48$

## リ ズ ム 課 題 例 題

手で拍を振りながら，下記のリズムを音程をつけずに音名で読みなさい（「タ」等のシラブルでも良いが音名で読むことが望ましい）。

●作曲科，器楽科，楽理科志願者

$\text{♩} = 60 \text{ ca.}$

●声楽科志願者

$\text{♩} = 60 \text{ ca.}$

②副科実技等

1. 副科ピアノ

受験者区分	試験内容及び課題曲
<p>作曲科 器楽科 (オルガンのみ) 指揮科 楽理科 (ピアノでの志願者)</p>	<p>次の(イ), (ロ), (ハ)から1つ選択すること。</p> <p>(イ) J.S.Bach : Das Wohltemperierte Klavier 平均律ピアノ曲集第1巻, 第2巻より任意の1曲 (Praeludium 及び Fuga の両方を準備する事。)</p> <p>(ロ) L.v.Beethoven : Klaviersonaten            Op. 2 No.1, 2, 3            Op. 7            Op.10 No.1, 2, 3            Op.13            Op.14 No.1, 2            Op.22</p> <p style="text-align: right;">} の中から1曲を選び, その第1楽章</p> <p>(ハ) F.Chopin : 練習曲集 Op.10, 25より任意の1曲</p> <p>(注) いずれも暗譜とする。繰り返しなし。</p>
<p>声乐科 器楽科 (弦楽, 管打楽)</p>	<p>(1) 音階 : Hanon No.39の中から当日指定する。            同一調号による長調と短調            但し速度を ♩ = 100程度以上とする。            (注) 長調の音階は繰り返しなし。短調の音階は和声的短音階を1回弾いた後, 続けて旋律的短音階を1回弾き, 終止形をつけて終わる。</p> <p>(2) 下記のソナチネ, ソナタより1曲を選び, その第1楽章。            Kuhlau : Op.20 No.1, 2, 3 Op.55 No.1, 2, 3            Clementi : Op.36 No.2, 3, 4, 5, 6            Haydn : Hob.XVI/35 (C-dur)            Mozart : KV 545 (C-dur)            Beethoven : Op.49 No.1, 2            Dussek : Op.20 No.1</p> <p>(注) (1), (2)とも暗譜とする。繰り返しなし。</p>

## 2. 副科ピアノ以外の副科実技（楽理科のみ）

受験者区分	試験内容及び課題曲
<p>楽理科は、ピアノ以外の右記の楽器等により副科実技を受験することができる。</p>	<p>オルガン・チェンバロ・弦楽器・管楽器・打楽器・邦楽器（三味線・箏・尺八・邦楽囃子・能楽囃子・雅楽）</p> <p>ただし、弦楽器・管楽器で受験する場合に使用できる楽器は、器楽科弦楽専攻・管楽専攻の志願者が出願できる楽器に限る。</p> <p>試験曲は、ヴァイオリン及び邦楽器の場合を除き自由曲である。</p> <p><b>ヴァイオリン課題曲</b>  W.A.Mozart：Violin Concerto No.3 in G major, K.216より  第1楽章，Allegro  （注）Cadenzaを除く。暗譜とし，伴奏なし。</p> <p><b>邦楽課題曲</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三味線  「小鍛冶」（二世杵屋勝五郎作曲）</li> <li>・箏曲（山田流）  「秋の七草」（音楽取調掛作）</li> <li>・箏曲（生田流）  「春の曲」（吉沢検校作曲）一＝壺越(D)</li> <li>・尺八（琴古流・都山流）共通  「六段の調」（八橋検校作曲）</li> <li>・邦楽囃子  「五郎時致」（三升屋二三治作詞，十代目杵屋六左衛門作曲）  （注）四拍子の中より一つを選択する。</li> <li>・能楽囃子  笛 「中ノ舞」  小鼓 「羽衣 クセ」  大鼓 「羽衣 クセ」  太鼓 「鶴亀 キリ」</li> <li>・雅楽  平調 「越天楽」  （注）管楽器の中より一つを選択する。</li> </ul> <p>※上記いずれかの楽器で受験した場合は，副科ピアノを受験する必要はない。</p>

## 3. ピアノ新曲

受験者区分	試験内容及び課題曲等
作曲科	初見奏

#### 4. 和声

受験者 区分	試 験 内 容 及 び 課 題 曲
指 揮 科 ・ 楽 理 科	<p>指揮科及び楽理科志願者のみに課す。            試験時間は1時間30分。            与えられた数字付低音によるバス及びソプラノ声部に，それぞれ四声体の和声を作る。指揮科課題，楽理科課題とも三和音の基本形と転回形のみ。転調は含まない。</p>
	<p>平成28年度入学者選抜試験より「和声」について次の例題に準じた出題に変更する。</p> <p>1)            次の数字付き低音によるバス課題を四声体で実施しなさい。</p>  <p>2)            次のソプラノ課題を四声体で実施し，可能であればバス声部の下に和音数字(5,6など)を書きなさい。</p> 

## ウ. 面接

作曲科、邦楽科及び音楽環境創造科の各志願者に対して面接を行い、声楽科、器楽科、指揮科及び楽理科の各志願者に対しては、面接を行わない。

音楽環境創造科の面接には、「自己表現」を含む。(41ページ参照)

## エ. その他

音楽環境創造科の志願者は、「志望理由書」(800字以内。本学所定の用紙に手書きで記入のこと)を願書とともに提出しなければならない。「志望理由書」は、面接時の参考とする。

## 10. 合格者発表

1. **中間合格者発表** 入学試験実施日程表(別表2)の各専攻の当該日である。音楽学部構内に掲示及び本学ホームページ(<http://exam-m.geidai.ac.jp/>)で発表する。合格者の発表は、受験番号により行う。なお、来学する場合は**本学部受験票及び大学入試センター試験受験票**を必ず持参すること。

2. **最終合格者発表** 平成28年3月12日(土)13時より音楽学部構内に掲示及び本学ホームページ(<http://exam-m.geidai.ac.jp/>)で発表する。電話・電子メール等による問い合わせには、一切応じない。

なお、最終合格者は、以下のどちらかの方法により入学手続書類を受け取ること。

- ① 合格者発表と同時に入学手続きに関する書類を13時から16時まで交付する。  
本学部の「受験票」及び「大学入試センター試験受験票」(私費外国人留学生は「日本留学試験受験票」)を必ず持参して受け取ること。(代理人可)
- ② 16時までに取りに来なかった場合、出願時に提出した宛名ラベルシールに記載されている住所へ、平成28年3月12日(土)中に大学から合格者へ入学手続書類を発送する。郵送により入学手続書類を本学へ提出する者については、合格発表時に指示する方法で、平成28年3月15日(火)17時までに、入学意思があることを必ず大学に連絡すること。この連絡が無い場合、入学意思が無いものとし、入学を辞退したものと取り扱う。入学手続方法については入学手続書類を確認すること。

本学ホームページ(<http://exam-m.geidai.ac.jp/>)でも合格者の受験番号を掲載する。(中間発表においては、掲示された日程等も併せて掲載する。)

入学試験実施日程表に示してある中間及び最終合格者発表の日時のそれぞれ1時間後に掲載する予定である。(中間発表：各発表日17時頃、最終発表：平成28年3月12日(土)14時頃)

発表前後はアクセスが集中し、つながりにくい場合がある。その際は、時間をおいて再度アクセスすること。

3. **追加合格者について** 入学手続終了後、入学定員に欠員が生じた場合、平成28年3月28日(月)から平成28年3月31日(木)までの間に追加合格者を決定する場合があるので、この期間本学部から連絡がとれるようにすること。なお、この発表は本学部から当該者に対して電話連絡等により行い、受験者からの問い合わせには一切応じない。

## 11. 入学手続等について

最終合格者の入学手続は、次により行う。詳細は、最終合格者発表の際、案内を交付する。なお、入学手続の際、**大学入試センター試験受験票（再発行を受けた者は、再発行されたもの。私費外国人留学生は「日本留学試験受験票」）**を必ず持参すること。

1. 入学手続期間 平成28年3月14日(月)及び平成28年3月15日(火)

3月14日(月) 10:00～16:00 (12:00～14:00を除く)

3月15日(火) 10:00～17:00 (12:00～14:00を除く)

上記の期間に手続に来ることが出来ない場合は、合格発表時に指示する方法で、平成28年3月15日(火)17時まで、入学意思があることを必ず本学部に連絡すること。

入学手続方法については入学手続書類を確認すること。

2. 場 所 東京藝術大学音楽学部 東京都台東区上野公園12-8

3. 納 付 金

入学料・・・・・・・・・・338,400円(予定額)

(注) 入学手続終了者が平成28年3月31日(木)までに入学辞退を申し出た場合でも、入学料は返還しない。

\*参考までに、入学手続時には上記入学料の他に次のような経費の納入が必要となる。

○音楽教育振興会費・・・・・・・・・・60,000円

(音楽教育振興会：音楽学部の教育研究、学生の課外活動などを支援するための学生の父母により組織される会)

○学生教育研究災害傷害保険料(4年間)・・・3,300円

○同声会費(同窓会費)・・・・・・・・・・60,000円

※授業料(前期分)・・・・・・・・267,900円(年額535,800円)[予定額](国費外国人留学生は納入不要)

(注) 1. 授業料の納入に関しては入学手続時に詳細を通知する。

2. 在学中に授業料改定が行われた場合、改定時から新授業料が適用される。

4. 提出書類 誓約書……………1通(所定用紙を交付する。)

卒業証明書……………1通(平成28年3月高等学校若しくは中等教育学校卒業見込で受験した者のみ)

写 真……………1枚(脱帽・上半身・正面向き。サイズは、縦4cm×横3cm)

そ の 他……………合格者発表時通知する。

5. 留意事項

(1) 本学部が定めた入学手続期間内に入学手続を完了しない場合、入学辞退者として取り扱う。

(2) 他の国公立大学・学部の入学手続をした者は、これを取消して本学部の入学手続をすることはできない。

(3) 本学部の入学手続をした者は、これを取消して他の国公立大学・学部の入学手続をすることはできない。

6. 郵送による入学手続について

本学では、最終合格者に係る入学手続において、直接来学による受付と並行して郵送による受付も行う。

郵送により入学手続を行なう際は、合格発表時に指定する方法で、平成28年3月15日(火)17時まで、入学意思があることを必ず本学部に連絡すること。

郵送による入学手続書類の到着期限は平成28年3月19日(土)である。

## 12. 藝心寮（学生寮）について

### 1. 申込方法

運営会社より指定の申込用紙を送るので、下記電話番号へ連絡すること。  
なお、合格発表前に予約することができる。

### 2. 申込期間

- (1) 合格発表前予約の申込期間 平成28年1月8日～2月29日
- (2) 合格後の申込期間 平成28年3月14日～3月15日  
(締切後も、空室がある場合は、随時受け付ける。)

### 3. 運営会社（問い合わせ・資料請求）

学生マンション総合案内センター 東京駅前センター  
株式会社毎日コムネット 東京駅前店  
フリーダイヤル0120-952-473

藝心寮に関する情報

■ホームページアドレス <http://www.geidai.ac.jp/life/welfare/geishinryo>

## 13. 入学料・授業料の免除・徴収猶予について

本学には、入学料・授業料の免除・徴収猶予制度があるので、希望する者は、入学料・授業料の納入前に、下記の申請要件を確認のうえ、所要の手続きを行うこと。

(納入後の各種申請は出来ないので注意すること。なお、入学料免除については申請要件を満たしても免除されずとは限らないこと、及び授業料免除についても申請しても不許可となる場合があることから、入学料・授業料納入の準備は事前に十分に行っておくこと。)

免除・猶予の申請要件は次のとおりである。

### 1. 入学料免除

- (1) 入学前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡または申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合
- (2) (1)に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

### 2. 入学料徴収猶予

- (1) 経済的理由により入学料の納付期限までに入学料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- (2) 入学前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡または申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納付期限までに納付が困難であると認められる場合
- (3) その他やむを得ない事情があると認められる場合

### 3. 授業料免除

- (1) 経済的理由により授業料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- (2) 入学前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡または申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納付が著しく困難であると認められる場合

### 4. 授業料徴収猶予

- (1) 経済的理由により授業料の納付期限までに納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合

なお、上記申請要件に不明の点がある場合は、学生課（TEL 050-5525-2069）に照会すること。

## 14. 奨学金・特待生について

本学では、入学試験、在学中の実技試験等において特に優れた成績を納めた者に対し、各種の奨学金、特待生制度を設けてこれを表彰し、才能に溢れた意欲ある学生を積極的に支援している。これらは返済不要の給付型奨学金である。制度の詳細については本学ホームページを確認すること。

### 1. 入学試験成績により採用されるもの

宗次徳二特待奨学生 [対象：ピアノ、弦楽、管打楽／初年度給付額：100万円／給付期間：最長4年間]

※宗次徳二特待奨学生を希望する志願者は、入学願書の所定欄にその旨記入すること。

### 2. 在学時の学業成績等により採用されるもの

長谷川良夫賞 [対象：作曲／給付額30万円] 大賀典雄賞 [対象：声楽、ピアノ／給付額100万円]

松田トシ賞 [対象：声楽／給付額20万円] アリアドネ・ムジカ賞 [対象：ピアノ／給付額30万円]

藝大クラヴィア賞 [対象：ピアノ／給付額10万円] 宮城賞 [対象：邦楽／給付額10万円]

常英賞 [対象：邦楽／給付額10万円] 武藤舞奨学金 [対象：音楽環境創造／給付額30万円] 他

### 3. その他の支援制度

上記以外にも、福島育英会、明治安田クオリティオブライフ文化財団、青山財団、よんでん文化振興財団などの民間奨学財団、地方公共団体へ大学から推薦した学生が、毎年、奨学生として採用されている。

## 15. 平成28年度邦楽科「現代邦楽囃子分野（打楽器・笛）」・「現代箏曲分野（山田流・生田流共通）」の新設について

### 概要

平成28年度より、邦楽科邦楽囃子専攻に現代邦楽囃子分野（打楽器・笛）、箏曲専攻に現代箏曲（山田流・生田流共通）を加える。これらの新分野では時代に即応した獨創性・創造性に富んだ人材の育成を目指す。邦楽器アンサンブルや多種多様な音楽とのアンサンブル等を総合的に身につけ、古典の修練をも積んだ人材を育成する。邦楽器の伝統を継承し紡ぐと同時に、新たな邦楽器の可能性を見つめ切り拓き世界的に活躍していける人材を求める。

#### 現代邦楽囃子、現代箏曲共通

必修科目の他に、選択科目では各学生の修得カリキュラムを自由に組み立てることができる。

日本・東洋音楽史、西洋音楽史、邦楽合奏研究（邦楽オーケストラ実習）、現代邦楽室内楽（小編成のアンサンブル法）、現代邦楽作曲法、西洋音楽理論、ソルフェージュ、指揮法等を選択履修することができる。

#### 現代邦楽囃子分野（打楽器・笛）

現代邦楽の各専門実技に加え、古典邦楽囃子実技（太鼓・大鼓・小鼓・笛）を毎年履修する。その他に、歌舞伎下座太鼓、江戸祭囃子実技、副専攻として長唄・長唄三味線・尺八・箏曲等を選択履修できる。

#### 現代箏曲（山田流・生田流共通）

現代箏曲の専門実技に加え、それぞれの専攻の古典箏曲実技、古典三絃実技を毎年履修する。

※邦楽科邦楽囃子専攻に現代邦楽囃子分野、箏曲専攻に現代箏曲分野を加え(下表の下線部分)、次のとおりとなる。

科	専攻	分野	募集人員
邦楽	三味線音楽	長唄三味線	25 ※専攻毎の定員は設けない
		常磐津三味線	
		清元三味線	
		長唄	
		常磐津	
		清元	
	邦楽囃子	邦楽囃子	
		<u>現代邦楽囃子</u>	
	日本舞踊		
	箏曲	山田流	
		生田流	
		<u>現代箏曲</u>	
	尺八		
能楽（囃子を除く）			
能楽囃子			
雅楽			

邦楽科の入学定員（25名）に変更（増員）はない。

## 16. 【予告】平成29年度音楽学部入学者選抜試験における「英語の資格・検定試験の活用」と「外国教育課程出身者特別入試の実施」について

### (1) 「英語の資格・検定試験の活用」について

平成29年度より音楽学部「作曲科・声楽科・器楽科・指揮科・邦楽科」入学者選抜（一般入試）における大学入試センター試験の「英語」については、「英語の資格・検定試験」のスコア等の提出を認め、次に掲げるいずれかの水準を超えている場合には、大学入試センター試験における「英語」の成績を満点とみなして扱う。ただし、その場合であっても、大学入試センター試験における「外国語」は受験しなければならない。

対象となる「英語の資格・検定試験」及び「スコア・等級」

- ・ 実用英語技能検定（英検） 準1級以上
- ・ IELTS バンド5.5以上
- ・ TOEFL iBT 72点以上
- ・ TOEIC 785点以上

注1：対象となる「英語の資格・検定試験」は、平成27年2月以降に受験した試験に限る。ただし、「実用英語技能検定（英検）」については、二次試験を平成27年2月以降に受験した試験とする。

注2：対象は「英語の資格・検定試験」の公式スコアとし、TOEFL ITP, TOEFL Junior Comprehensive, TOEFL PBT, TOEIC IP は対象としない。

### (2) 「外国教育課程出身者特別入試の実施」について

平成29年度より音楽学部「全学科」において「外国教育課程出身者特別入試」を実施する。

#### 1. 趣旨

近年、諸外国での教育制度や国際バカロレアのカリキュラムの下で学ぶ者の数は増加しており、これらを通じて多様な文化・言語に触れ、基礎的学力を身に付けた者に対して、本学の優れて高度な大学教育の機会を提供することは、その国際的な素養を大きく発展させる契機となるだけでなく、本学の教育環境の多様性を一層深め、国際舞台で活躍できる有為な人材を育成することが可能となるものと期待できる。

このため平成29年度より音楽学部全学科において、次のとおり外国教育課程出身者に対して特別選抜を実施する。

#### 2. 入学者選抜における基本方針

外国教育課程出身者特別入試では、優れた音楽的能力のみならず、入学後の教養教育に十分に対応できる知識と、国際的な視野やコミュニケーション能力を備えていることを重視する。

- ・ 出願書類（志望理由書、成績証明書等）により、幅広い分野の基礎知識や能力、日本語及びその他言語のコミュニケーション能力などを評価する。
- ・ 実技検査では、音楽の基礎能力及び専攻実技に関する表現力などを評価する。
- ・ 面接では入学後、日本語で行われる授業内容を充分理解しうる日本語能力などを評価する。

#### 3. 入学までに身に付けて欲しいこと

専攻実技に関する高度な技能と豊かな表現力、主体的に学ぶための知識や思考力、国際的な視野、日本語及びその他言語によるコミュニケーション能力を身に付けていることを望む。

平成29年度東京藝術大学音楽学部「外国教育課程出身者特別入試」概要

実施学部・学科名	音楽学部全学科
募集人員	若干名（一般入試の募集人員に含む。）
出願要件	<p>日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、下記の出願資格のいずれかに該当する者。</p> <p>(1)（地理的・場所的に）外国において、学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を平成27年（2015年）4月1日から平成29年（2017年）3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者で、外国において最終の学年を含めて2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている者。</p> <p>ただし、外国に設置された学校であっても日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校に在学し、教育を受けた期間は、外国において学校教育を受けた期間とはみなさない。</p> <p>(2) 次の資格のいずれかを平成27年（2015年）又は平成28年（2016年）に取得した者で、平成29年（2017年）3月31日までに18歳に達する者。</p> <p>①スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 （注）日本における認定校出身の有資格者及び資格取得見込み者を含む。</p> <p>②ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格</p> <p>③フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格</p>
選抜方法等	<p>大学入試センター試験を免除し、出願書類及び本学が実施する一般入試志願者と同一の個別試験により選抜する。また、全学科、日本語による面接を課す。</p> <p>※志願者は志望理由書（800字以内。所定の用紙に日本語、手書きで記入のこと）を願書とともに提出しなければならない。</p>
出願期間	平成29年度音楽学部一般入試と同一期間とする。
選抜期日	各学科の一般入試志願者と同一期日とする。
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本学における一般入試との併願は認めない。</li> <li>・本学が実施する個別試験は日本語により行う。</li> <li>・本学における授業は、一部分を除き日本語で行う。</li> </ul>

## II 別科

1. 出願資格 — 音楽学部と同様とする。
2. 修業年限 — 2年
3. 出願手続

### 1. 願書受付期間

平成28年1月25日(月)～平成28年2月3日(水)

郵送による出願とし、上記の期間内消印有効とする。

(注) 入学願書を直接大学に持参したもの、又は郵便局の消印が上記期間外のものは受理しないので注意すること。

### 2. 検定料

#### ① 金額：9,800円

国費外国人留学生は納入不要である。ただし、「国費外国人留学生在籍証明書」を在籍する大学に発行を依頼して、必ず提出すること。

【入学検定料免除制度について】

平成23年3月11日に発生した東日本大震災において被災した方は、入学検定料の免除を受けられる制度がある。免除を希望する方は、入学願書提出前に「入学検定料免除申請書」を提出いただくことが必要です。免除の許可または不許可が決定する前に検定料を納入していただく必要はありません。申請時期などの詳細は本学ホームページ (<http://www.geidai.ac.jp/news/2015070333257.html>) で確認すること。

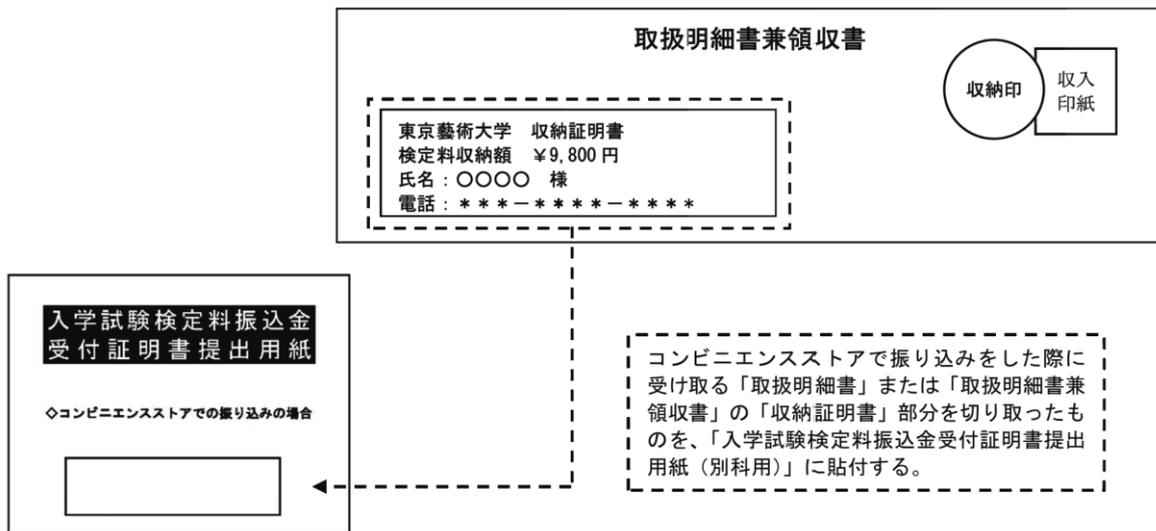
#### ② 振込期間：平成28年1月5日(火)～平成28年2月3日(水)

#### ③ 振込方法及び提出書類：

以下の(ア)、(イ)、(ウ)のいずれかの方法により振り込むこと。

##### (ア) コンビニエンスストアでの振り込み

- ・8ページの説明を参照の上、振り込み手続きを行うこと。
- ・振込時に、この要項に添付している「検定料振込依頼書(A・B・C票)」に記載された「整理番号」(5桁)の入力が必要になる。
- ・コンビニエンスストアで振り込んだ際に受け取る「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取ったものを、「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙(別科用)」に貼付して提出すること。
- ・コンビニエンスストア内のATMによる振り込みは受け付けない。必ず指定の端末にて手続きを行うこと。



##### (イ) 金融機関窓口での振り込み

- ・この要項に添付している「振込依頼書(A・B・C票)」を使用すること。
- ・取扱金融機関は次の通りである。  
都市銀行・信託銀行・地方銀行・信用金庫・信用組合・農業協同組合・ゆうちょ銀行(郵便局)等(金融公庫では振り込めないので注意すること。)
- ・ゆうちょ銀行(郵便局)での振り込みはゆうちょ銀行の口座からのみ可能である。詳しくは振込を依頼する店舗に問い合わせること。
- ・振込時には別途手数料が必要である。(三井住友銀行本・支店から振り込む場合は手数料が無料になる。)
- ・金融機関ATM(現金自動預け払い機)による振り込みは受け付けない。
- ・振込後に返却されるB・C票のうち、C票を切り離し、「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙(別科用)」に貼付して提出すること。

(次ページに続く)

<b>A票 振込依頼書</b> (〔東京芸術大学〕入学試験検定料)		金融機関取扱期間 平成28年1月4日(月)～2月3日(月)	
ご依頼日	声連・楽器等名	手数料	印
平成 年 月 日	電信送	印	印
振込先 三井住友銀行 東京公務部	金額	印	印
普通 口座 151793	金額	¥9,800	印
依頼人 トウキョウ芸術大学			
国立大学法人 東京芸術大学 検定料収納口			
整理番号	志願者氏名		
依頼人 志願者			

※【取扱金融機関へのおお願い】

- 5桁の整理番号は、氏名欄部へ連続して打電してください。
- 収納印はA・B・C票の3ヶ所にもれなく押印してください。
- B・C票は、必ず依頼人へお返しください。
- 三井住友銀行本支店にて振込の場合の振込手数料は無料となります。(ATM等は不可です)

(取扱金融機関保管) 音楽・別科

<b>B票 振込金受取書</b> (〔東京芸術大学〕入学試験検定料)	
平成 年 月 日	金額
金額	¥9,800
振込先 三井住友銀行 東京公務部	
受取人 東京芸術大学	
整理番号	
志願者 氏名	
収入 印紙	
収入 印	

〔金融機関で切り離してください〕

(志願者保管) 音楽・別科

<b>C票 「東京芸術大学」入学試験 検定料振込金受付証明書</b>	
種別	金額
金額	¥9,800
振込先 三井住友銀行 東京公務部	
受取人 東京芸術大学	
整理番号	
志願者 氏名	
収入 印	
収入 印	

〔切り離して、大学提出用〕

(大学提出用) 音楽・別科

**入学試験検定料振込金  
受付証明書提出用紙**

◇銀行等金融機関での振り込みの場合

C票 「東京芸術大学」入学試験  
検定料振込金受付証明書

金融機関窓口で振り込みをした際、返却されたB・C票のうち、C票を切り離し、志望声種・楽器名等、氏名を記入のうえ、「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙(別科用)」に貼付する。

(ウ) 外国からの送金

- ・ 志願者が外国から送金する場合は、下記の要領に従って送金すること。
- ・ 検定料(9,800円)+自国で発生する送金手数料(送金時に確認すること)+日本国内手数料(4,000円)を用意すること。  
(送金途中で経由する銀行がある場合、上記以外に経由銀行での手数料が生じる場合がある。)
- ・ 手数料はすべて依頼人負担として送金すること。依頼人負担の指定を行わない場合、手数料を差し引いた残額しか入金されない。
- ・ 振り込み後、「外国送金依頼書(送金銀行の受領印またはサイン入り)」の写しを「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」に貼付し、他の書類とともに提出すること。

送金種類 (Type of remittance)	電信送金 (Telegraphic transfer)
通貨 (Currency)	日本円 (Japanese Yen)
支払方法 (Method of payment)	通知払 (Advice and pay)
手数料 (Charge)	依頼人負担 (Borne by Payer) (check "OUR")
送金目的 (Purpose of payment)	検定料 (Screening fee)
銀行名 (Paying bank)	三井住友銀行 (Sumitomo Mitsui Banking Corporation)
支店名 (Branch)	東京公務部 (Tokyo Koumubu Branch)
スウィフトコード (SWIFT CODE)	SMBCJPJT
銀行住所 (Bank Address)	〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-6-12 1-6-12 Toranomom, Minato-ku, Tokyo Japan
受取人口座番号 (Account number)	普通預金151793 (A/C 151793)
受取人 (Account name)	国立大学法人 東京芸術大学 検定料収納口 (Tokyo University of the Arts)

(次ページに続く)

住所 (Address)	〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 (12-8 Ueno-park, Taito-ku, Tokyo Japan)
連絡事項 (Message to payee)	・ 志願者の氏名 (Name of applicant) ・ 声種・楽器名 (Name of the department which you are applying)

#### ④ 返還について

願書を受理した後は、次の(ア)、(イ)の場合を除き、いかなる理由があっても振り込み済みの検定料は返還しない。

(ア) 検定料を振り込んだが、願書を提出しなかった、または願書が受理されなかった場合

(イ) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

上記(ア)または(イ)に該当する場合の返還請求の方法は次の通りとする。

便せん等を使用し、以下①～⑦の項目について記入した「検定料返還請求願」を作成し、「取扱明細書」、「収納証明書」、「C票」のいずれかを添付して、東京藝術大学戦略企画課経理係（郵便番号110-8714 東京都台東区上野公園12-8）まで郵送すること。

①名前、②住所、③電話番号、④受験予定の専修、声種・楽器名等、⑤金額、⑥返還請求の理由、⑦振込先の銀行名・支店名・普通口座または当座口座の別・口座名義（カタカナ）・口座番号

※大学から志願者への返還金額は振込手数料を差し引いた額である。

※返還請求願受領後、返還金の振り込みまで通常約1ヶ月かかる。

※志願者本人が銀行口座を持っておらず、保護者等の口座に返還を希望する場合は、必ずその旨を書いた委任状を返還請求願と一緒に送付すること。

### 3. 提出書類

- (1) 別科志願者の提出書類は、学部志願者提出書類(①～②, ④～⑧)(9～10ページ参照)に関しては、学部志願者と同様であり、同ページ記載の注意事項参照のうえ必要書類を整えて提出すること。
  - 入学願書等については、別科所定のものを使用すること。
  - 「検定料振込依頼書」(A・B・C票)及び「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」については、別科所定のものを使用すること。
  - 調査書は出身高等学校長が作成したものを提出すること。また、婚姻等により調査書記載の姓と現在の姓が異なる場合は、戸籍抄本を添付すること。
  - 別科志願者には、大学入試センター試験を課していないので、「大学入試センター試験成績請求票」の提出は不要である。
- (2) 学部と併願受験する場合は、(59ページ参照)それぞれ検定料を納入し、提出書類も別に作成し、学部、別科別々の封筒で提出しなければならない。
- (3) 声楽専修志願者は、学部「声楽科志願者に対する注意事項」(18ページ)を参照すること。  
声楽専修用の伴奏楽譜を提出する際、学部用の「伴奏楽譜送付用封筒」を使用してはいけない。**任意の封筒に朱書で「別科声楽専修伴奏楽譜」と表書きしたもの**を使用し、別科入学願書と別便で、同時に**速達書留**で郵送すること。
- (4) 声楽専修、オルガン・コントラバス・ハープ・打楽器・古楽の各志願者は、「自由曲目提出用紙」を提出すること。
- (5) ピアノ志願者は、「曲目提出用紙」を提出すること。
- (6) 長唄三味線・常磐津三味線・清元三味線・長唄・常磐津・清元・邦楽囃子の各志願者は、「曲目提出用紙」を提出すること。
- (7) 箏曲(山田流)・箏曲(生田流)・尺八の各志願者は、「曲目提出用紙」を提出すること。
- (8) 能楽・能楽囃子の各志願者は、「曲目提出用紙」を提出すること。
- (9) 証明書が日本語以外で記載されている場合は、日本語訳を添付すること。

### 4. 受験票

所定の様式を使用すること。

- (注)1. 邦楽専修の長唄三味線・常磐津三味線・清元三味線・長唄・常磐津・清元は三味線音楽として、通し番号で受験番号をふる。
2. 受験票が平成28年2月15日(月)までに到着しないときは、平成28年2月19日(金)までに音楽学部教務係へ申し出ること。〔音楽学部教務係 電話050-5525-2309〕

### 5. 試験場

東京藝術大学音楽学部 東京都台東区上野公園12-8

#### 4. 専修部門及び募集人員

専 修		募 集 人 員
声	楽	} 30 名
器 楽	ピ ア ノ	
	オ ル ガ ン	
	弦 楽 器	
	管 打 楽 器	
	古 楽	
邦	楽	

(注)1. 別科への出願は、志願する専修1つに限る。

- ① 声楽専修志願者は、次の中から1声種を選択し、出願すること。  
ソプラノ・アルト（メゾソプラノを含む）・テノール・バス（バリトンを含む）
- ② 弦楽器及び管打楽器志願者は、次の楽器の中から1種を選択し、出願すること。  
（弦楽） ヴィオラ，チェロ，コントラバス，ハープ  
（管打楽） フルート，オーボエ，クラリネット，ファゴット，サクソフォーン，ホルン，トランペット，テナー・トロンボーン，バス・トロンボーン，ユーフォニアム，チューバ，打楽器
- ③ 古楽志願者は、次の楽器の中から1種を選択し、出願すること。  
バロック声楽，バロックヴァイオリン，バロックチェロ，リコーダー，チェンバロ，バロックオルガン，フォルテピアノ
- ④ 邦楽専修志願者は、次の中から1種を選択し、出願すること。  
長唄三味線，常磐津三味線，清元三味線，長唄，常磐津，清元，邦楽囃子（笛含む），箏曲（山田流），箏曲（生田流），尺八，能楽（囃子を除く），能楽囃子

#### 2. 別科と音楽学部の併願受験について

別科と音楽学部の併願受験について、以下のとおり取り扱う。

- ① 併願を認める専修  
別科の声楽専修，器楽専修（管打楽器）及び邦楽専修の各志願者にあつては、それぞれ音楽学部声楽科，器楽科（管打楽器専攻）及び邦楽科と併願受験できる。
- ② 併願を禁止する専修  
別科の器楽専修（ピアノ・オルガン・弦楽器・古楽）の各志願者は、それぞれ音楽学部の各学科・専攻を併願受験することはできない。これらについては、志願する別科の専修と音楽学部の学科・専攻が異なる場合でも併願受験はできない。

#### 3. 本大学及び国内の他大学との二重学籍は認めないので、出願時に十分考慮すること。

5. 試験内容及び試験曲等

別科入学者選抜試験は、本表「試験内容及び試験曲等」に記載された内容についてのみ行う。

専修	声種・楽器等	試験内容及び試験曲
声 楽	ソプラノ(S) アルト(A) (メゾソプラノを含む) テノール(T) バス(B) (バリトンを含む)	自由曲1曲を演奏する。(オペラ、オラトリオの aria は原調。) 暗譜のこと。 (注) 1. 伴奏楽譜は各自提出しなければならない。 2. 演奏する曲は学部声楽科課題曲と同じものでも差しつかえない。 3. 演奏時間は4分以内とする。 4. 伴奏者は本学で用意する。
	ピ ア ノ (Pf)	次の10曲から1曲を選択し、その第1楽章と終楽章を用意すること。 Beethoven: ピアノソナタ ・第1番 ヘ短調 作品2-1 ・第2番 イ長調 作品2-2 ・第3番 ハ長調 作品2-3 ・第4番 変ホ長調 作品7 ・第6番 ヘ長調 作品10-2 ・第7番 ニ長調 作品10-3 ・第11番 変ロ長調 作品22 ・第16番 ト長調 作品31-1 ・第18番 変ホ長調 作品31-3 ・第21番 ハ長調 作品53「ワルトシュタイン」 I) 演奏はすべて暗譜とする。 II) 繰り返しは省略すること。 III) 当日、時間の都合により一部を省略させることがある。
器 楽	オルガン (Org)	自由曲 (注) 実技試験の行われるオルガンの仕様については、本冊子学部オルガン科の項を参照すること。当日、時間の都合により一部省略させることがある。
	ヴァイオラ (Va)	(A) 音階 ヘ短調(音階、分散和音、分散3度、半音階、3度の重音)を演奏すること。 ※学部入試第1回試験の音階課題(イ)(ロ)を参照のこと。 (B) C. Stamitz: Viola Concerto No.1 ニ長調(D-dur)より第1楽章 Allegro moderato (カデンツァは除く) ※Henle版を使用  (注) 暗譜とし、伴奏なしとする。場合により一部を省略させることがある。 (A)(B)の順で演奏すること。
	チェロ (Vc)	次のうち、任意の1曲を選んで演奏すること。 (A) L. Boccherini: Concerto B-dur 第1楽章(Grützmacher編) Cadenzaは除く。 (B) J. Haydn: Concerto C-dur 第1楽章(楽譜は何版を使ってもよい) Cadenzaは除く。 (C) C. Saint-Saëns: Concerto a-moll Op.33 第1楽章 (D) E. Lalo: Concerto d-moll 第1楽章(初めから117小節 Lento まで) (注) 暗譜とし、伴奏なしとする。場合により一部を省略させることがある。
	コントラバス (Cb)	自由曲 (注) 暗譜とし、伴奏なしとする。場合により一部を省略させることがある。
	ハ ー プ (Hp)	自由曲 (注) 暗譜とする。場合により一部を省略させることがある。

専修	声種・楽器等	試験内容及び試験曲	
器	<b>◎管楽器共通注意事項</b> (1) 音階 各調の中より当日指定する。ただし、金管楽器は学部試験内容に準じる。 (2) 課題曲 ただし伴奏はなしとする。 (注) 特に指定したもの以外は、楽譜を使用してもよい。		
	木	フルート (Fl)	J. Ibert : Pièce
		オーボエ (Ob)	C. Ph. E. Bach : 無伴奏ソナタ g-Moll 第1, 2楽章 (何版にても可) (注) 原曲は Sonate a-Moll Wq.132 無伴奏フルートソナタ
		クラリネット (Cl)	C. M. v. Weber : Konzert Nr.1 f-Moll für Klarinette und Orchester Op.73 第1楽章 (ベールマンのカデンツァを含む)
		ファゴット (Fg)	C. M. v. Weber : Concerto for Bassoon 第2, 3楽章 (何版にても可)
	管	サクソフォーン (Sx)	J. Ibert : Concertino da Camera (Leduc 版)
	金	ホルン (Hr)	(1) 課題曲 W. A. Mozart : Konzert für Horn und Orchester Nr.2 Es-dur K.417より第1楽章 (版指定なし) 演奏箇所は当日指定する。 (2) 自由選択曲 次の2曲より1曲選択し演奏すること。 a) R. Strauss : Konzert Nr.1 Es-dur op.11 より第1楽章 (Universal Edition) b) H. Neuling : Bagatelle für Horn und Klavier (EDITON PRO MUSICA) 演奏箇所は当日指定する。
		トランペット (Tp)	(1) Arban : Complete Grand Method (全音楽譜出版社版) より長音階 P.65~P.80, 短音階 P.81 第70~81番 上記の中より当日指定する。 (注) B♭ Trumpet を使用のこと。 (2) H. Tomasi : Concerto 第1楽章より当日指定する。 (注) C Trumpet を使用のこと。
		<b>◎テナー・トロンボーン, バス・トロンボーン共通課題</b> E.Remington : Warm-Up Exercises for Trombone (Accura Music 版) より下記の部分  第7ポジションまで演奏すること。(注) 暗譜とする。	
	楽管	テナー・トロンボーン (TTb)	C. Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社版) より (A) No.26 暗譜で演奏すること。 (B) No.29, 34, 35, 36, 37, 39, 41, 42, 43, 44の中から当日指定する。 楽譜は使用して良い。
バス・トロンボーン (BTb)		C. Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社版) より (A) No.(19) 暗譜で演奏すること。 (B) No.(37), (42), 43, 46, (49), 50, (52), (54), 55, 56の中から当日指定する。 楽譜は使用して良い。 (注) ( ) の曲は1オクターブ下で演奏すること。他は記譜通り。	
ユーフォニアム (Euph)		C. Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社版) No.6~No.33 (No.29は除く) より当日指定する。	
チューバ (Tu)		C. Kopprasch : Sixty Selected Studies for Tuba (Hoffmeister 版) No.6~No.33 より当日指定する。	
打楽器 (Pc)	(1) 小太鼓による基本奏法 1つ打ち, 2つ打ち, 5つ打ち, ロール (等) (2) 音階 (鍵盤打楽器による) (3) Collection Drum Solos (Ludwig 社版) より P.4~P.19の中から当日指定する。 (4) 自由曲 (5) 音感テスト (注) 小太鼓は、各自持参すること。		

専修	声種・楽器等	試験内容及び試験曲
器 古 楽	<p>◎古楽共通注意事項</p> <p>① ソロおよび伴奏に使えるチェンバロは、2段鍵盤フレンチタイプ(a'=415, 8'8"4', FF-f')のみとする。</p> <p>② 実技試験の行われるオルガンの仕様については、本冊子学部オルガン科の項を参照すること。</p> <p>③ フォルテピアノは、18世紀末のウィーン式モデル(a'=430, 音域 FF-g<sup>'''</sup>)である。</p> <p>④ 必要な伴奏者は同伴すること。ただし、オブリガートパートが必要な場合は、すべてチェンバロで代用すること。</p> <p>⑤ すべての受験者に面接を課す。</p> <p>⑥ すべての受験者は、自由曲目提出用紙に演奏する作品名を書いて、出願とともに提出すること。</p> <p>⑦ 各自の演奏する楽譜を3部ずつ用意して演奏順に綴じ、出願とともに教務係に送付すること。なお、所定の出願用封筒に用意した楽譜が入りきらない場合、出願書類は所定の封筒にて提出し、当該楽譜のみ「別科古楽受験用楽譜在中」と表書きした任意の封筒にて出願と同時に書留速達により郵送すること。 このとき、学部声楽科伴奏楽譜送付用封筒を用いてはならない。</p>	
	バロック声楽 (BV)	5分程度の自由曲
	バロックヴァイオリン (BVn)	A. Corelli：ヴァイオリンソナタ集 op.5のソナタ第1番から第6番までの中から1曲選択し、当日指定された楽章を演奏する。
	バロックチェロ (BVc)	J. S. Bach：Suite a violoncello solo senza basso no.3, BWV 1009から、Prélude, Allemande（繰り返しは省略のこと）
	リコーダー (Rec)	5分程度の自由曲
	チェンバロ (Cemb)	J. S. Bach：Die sechs Englischen Suiten (BWV 806-811) から任意の組曲1曲を選び、その中からPrélude, Courante, Sarabandeを演奏する（繰り返しは省略）。なお Courante と Sarabande が複数ある組曲の場合は、Courante, Sarabande それぞれ1つ分を任意に選んで演奏すればよい。
	バロックオルガン (BOrg)	次の2作品から任意の1曲を演奏する。 1) J. S. Bach：Präludium und Fuge in a, BWV 543 2) J. S. Bach：Präludium und Fuge in G, BWV 541
	フォルテピアノ (Fp)	Mozart もしくは Haydn のクラヴィーア作品から5分程度の作品または楽章

#### 予告

- 平成29年度入試より、別科バロック声楽専攻の試験に初見視唱課題が課される。
- 平成29年度入試より、別科チェンバロ、別科バロックオルガン、別科フォルテピアノの各専攻には、通奏低音課題（簡易な数字付き低音課題が当日与えられ、5分の予見ののちにそれぞれの専攻楽器で実施する）が課される。
- 平成29年度入試より、別科バロック声楽、別科バロックヴァイオリン、別科バロックチェロ、別科リコーダーの各専攻の面接においては、数字付き低音の基礎的知識の有無を問う試問がなされることがある。



専修	声種・楽器等	試験内容及び試験曲																
邦 箏	山 田 流	<p>◎<b>箏曲共通注意事項</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 暗譜で演奏すること。</li> <li>2. 試験は、箏は立奏（椅子）で行う。三絃は立奏でも座奏でもよい。</li> <li>3. 演奏箇所は試験の際に指示する。</li> </ol> <p>下記の〈古典〉・〈現代〉より1曲を選択する。</p> <table border="1" data-bbox="571 443 1157 600"> <tr> <td data-bbox="571 443 627 521">古典</td> <td data-bbox="627 443 1157 521">「四季の遊」 三世 山登松齡 作曲 ※箏・三絃のどちらの楽器を用いてもよい</td> </tr> <tr> <td data-bbox="571 521 627 600">現代</td> <td data-bbox="627 521 1157 600">「赤壁賦」 中能島欣一 作曲</td> </tr> </table> <p>●<b>山田流試験に関する注意事項</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 古典による出願者は、箏・三絃のいずれかを選択し、曲目提出用紙に記入すること。</li> <li>2. 原則として箏・三絃ともに各自持参の楽器を使用するが、本学で用意した箏（テトロン糸18匁）・三絃（絹糸）の使用も可能である。なお、曲目提出用紙に持参・借用の区別を記入すること。</li> </ol>	古典	「四季の遊」 三世 山登松齡 作曲 ※箏・三絃のどちらの楽器を用いてもよい	現代	「赤壁賦」 中能島欣一 作曲												
		古典	「四季の遊」 三世 山登松齡 作曲 ※箏・三絃のどちらの楽器を用いてもよい															
現代	「赤壁賦」 中能島欣一 作曲																	
楽 曲	生 田 流	<p>※下記の中から、箏・三絃各1曲を選択する。 ただし、学部と併願する場合は、学部への出願曲と重複しないこと。</p> <table border="1" data-bbox="571 936 1425 1205"> <tr> <td data-bbox="571 936 627 1093" rowspan="4">箏</td> <td data-bbox="627 936 1225 981">「ままの川」（菊岡検校作曲・松野検校箏手付）</td> <td data-bbox="1225 936 1425 981">一は壺越(D)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="627 981 1225 1025">「萩の露」（幾山検校作曲・八重崎検校箏手付）</td> <td data-bbox="1225 981 1425 1025">一は壺越(D)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="627 1025 1225 1070">「越後獅子」（峰崎勾当作曲・八重崎検校箏手付）</td> <td data-bbox="1225 1025 1425 1070">一は双調(G)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="627 1070 1225 1093">「楓の花（本手）」（松坂春栄作曲）</td> <td data-bbox="1225 1070 1425 1093">一は神仙(C)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="571 1093 627 1205" rowspan="3">三絃</td> <td data-bbox="627 1093 1225 1137">「八段の調」（八橋検校作曲）</td> <td data-bbox="1225 1093 1425 1137">Iの糸は壺越(D)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="627 1137 1225 1182">「千代の寿」（宮城道雄作曲）</td> <td data-bbox="1225 1137 1425 1182">Iの糸は壺越(D)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="627 1182 1225 1205">「末の契り」（松浦検校作曲）</td> <td data-bbox="1225 1182 1425 1205">Iの糸は壺越(D)</td> </tr> </table> <p>●<b>生田流試験に関する注意事項</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 箏は本学で用意した楽器（テトロン糸18匁）を使用する。</li> <li>2. 三絃は原則として各自の楽器を使用するが、本学で用意した楽器（絹糸）を使用することもできる。（曲目提出用紙に、持参・借用の区別を記入すること。）</li> </ol>	箏	「ままの川」（菊岡検校作曲・松野検校箏手付）	一は壺越(D)	「萩の露」（幾山検校作曲・八重崎検校箏手付）	一は壺越(D)	「越後獅子」（峰崎勾当作曲・八重崎検校箏手付）	一は双調(G)	「楓の花（本手）」（松坂春栄作曲）	一は神仙(C)	三絃	「八段の調」（八橋検校作曲）	Iの糸は壺越(D)	「千代の寿」（宮城道雄作曲）	Iの糸は壺越(D)	「末の契り」（松浦検校作曲）	Iの糸は壺越(D)
		箏		「ままの川」（菊岡検校作曲・松野検校箏手付）	一は壺越(D)													
「萩の露」（幾山検校作曲・八重崎検校箏手付）	一は壺越(D)																	
「越後獅子」（峰崎勾当作曲・八重崎検校箏手付）	一は双調(G)																	
「楓の花（本手）」（松坂春栄作曲）	一は神仙(C)																	
三絃	「八段の調」（八橋検校作曲）	Iの糸は壺越(D)																
	「千代の寿」（宮城道雄作曲）	Iの糸は壺越(D)																
	「末の契り」（松浦検校作曲）	Iの糸は壺越(D)																

専修	声種・楽器等	試験内容及び試験曲
邦   楽	尺 八	<p>(1) 課題曲1曲  「末の契」 松浦検校作曲  「越後獅子」 峰崎勾当作曲  「江の島曲」 山田検校作曲  「白の声」 山登萬和作曲  以上の4曲のうち1曲を選択。</p> <p>(2) 本曲1曲（曲目は自由）</p> <p>(注)  1. 流派は問わない。  2. 全曲暗譜とする。  3. 五孔尺八の一尺八寸管（竹製）を用いること。  4. 演奏箇所は、試験の際に指示する。  5. 演奏は、椅子又は立姿勢で行う。  6. 邦楽一般及び尺八について簡単な試問を行うことがある。</p>
	能 楽 (囃子を除く)	<p>シテ方（観世流及び宝生流）  謡曲 「網之段」(桜川)  仕舞 「岩船」</p> <p>ワキ方（下掛宝生流）  謡曲 「網之段」(桜川)  仕舞 「蟻通」</p> <p>狂言方（和泉流）  謡曲 「大原木」  小舞 「海道下り」</p> <p>(注) 受験者は着物，袴，白足袋着用のこと。</p>
	能 楽 囃 子	<p>下記の中から1つを自由選択。</p> <p>(イ) 笛 (一噌流) 「男舞」(三段)  (ロ) 小鼓 (幸流) 「経正(政)」キリ  (ハ) 大鼓 (高安流) 「敦盛」クセ  (ニ) 太鼓 (観世流) 「杜若」キリ(昔男のヨリ)</p> <p>(注) 1. 笛以外の楽器は、地謡の流儀（観世流，宝生流のいずれか）を  曲目提出用紙に記入すること。  2. 受験者は着物，袴，白足袋着用のこと。</p>

一部訂正について

平成27年10月8日(木)より配布している「平成28年度東京藝術大学音楽学部・別科入学者選抜試験 試験内容及び課題曲」の一部に誤りがあったので、以下のとおり訂正する。

別科 邦楽専修 尺八

(誤)

(1) 課題曲1曲  
「末の契」 菊岡検校作曲  
「越後獅子」 峰崎勾当作曲  
「江の島曲」 山田検校作曲  
「白の声」 山登萬和作曲  
以上の4曲のうち1曲を選択。

→

(正)

(1) 課題曲1曲  
「末の契」 松浦検校作曲  
「越後獅子」 峰崎勾当作曲  
「江の島曲」 山田検校作曲  
「白の声」 山登萬和作曲  
以上の4曲のうち1曲を選択。

## 6. 入学試験

1. 試験は、平成28年3月7日(月)及び平成28年3月8日(火)に音楽学部で行う。専修別詳細日程は、「入学試験実施日程表」(別表2)参照すること。

(注) 平成28年3月5日(土)16時以降、試験日程(集合時刻・試験時刻)を音楽学部構内に掲示及び本学ホームページで発表するので、志願者自身が見て確認すること。(試験日時・試験曲等を間違えた場合は失格(不合格)となる。)

2. 受験の際は、本募集要項表紙裏面記載の「受験上の注意事項」にも留意すること。

## 7. 合格者発表

平成28年3月12日(土)13時より音楽学部構内に掲示及び本学ホームページ (<http://exam-m.geidai.ac.jp/>) で発表する。最終合格者は、以下のどちらかの方法により入学手続書類を受け取ること。

- ① 合格者発表と同時に入学手続に関する書類を13時から16時まで交付する。本学部の「受験票」を必ず持参して受け取ること。(代理人可)
- ② 16時までに取りに来なかった場合、出願時に提出した宛名ラベルシールに記載されている住所へ、平成28年3月12日(土)中に大学から合格者へ入学手続書類を発送する。郵送により入学手続書類を本学へ提出する方については、合格発表時に指示する方法で、平成28年3月15日(火)17時までに、入学意思があることを必ず大学に連絡すること。この連絡が無い場合、入学意思が無いものとし、入学を辞退したものと取り扱う。入学手続方法については入学手続書類を確認すること。

本学ホームページ (<http://exam-m.geidai.ac.jp/>) でも合格者の受験番号を掲載する。  
入学試験実施日程表に示してある最終合格者発表の日時の1時間後(平成28年3月12日(土)14時頃)に掲載する予定である。  
発表前後はアクセスが集中し、つながりにくい場合がある。その際は、時間をおいて再度アクセスすること。

## 8. 入学手続等について

最終合格者の入学手続は、次により行う。詳細は、最終合格者発表の際、案内を交付する。

1. **入学手続期間** 平成28年3月14日(月)及び平成28年3月15日(火)  
3月14日(月) 10:00~16:00 (12:00~14:00を除く)  
3月15日(火) 10:00~17:00 (12:00~14:00を除く)  
上記の期間に手続に来ることが出来ない場合は、合格発表時に指示する方法で、3月15日17時までに、入学意思があることを必ず大学に連絡すること。入学手続方法については入学手続書類を確認すること。

2. **場 所** 東京藝術大学音楽学部 東京都台東区上野公園12-8

3. **納 付 金**

**入学料** ・ ・ ・ ・ ・ 84,600円 (予定額)

(注) 入学手続終了者が平成28年3月31日(木)までに入学辞退を申し出た場合でも、入学料は返還しない。

\*参考までに、入学手続時には上記入学料の他に次のような経費の納入が必要となる。

- 学生教育研究災害傷害保険料 (2年間) ・ ・ ・ 1,750円
- 同声会費 (同窓会費) ・ ・ ・ ・ ・ 60,000円

※授業料 (前期分) ・ ・ ・ ・ ・ 267,900円 (年額535,800円) [予定額] (国費外国人留学生は納入不要)

(注) 1. 授業料納入に関しては入学手続時に詳細を通知する。

2. 在学中に授業料改定が行われた場合、改定時から新授業料が適用される。

4. **提出書類** 誓約書……………1通（所定用紙を交付する。）  
卒業証明書……………1通（平成28年3月高等学校若しくは中等教育学校卒業見込で受験した者のみ）  
写真……………1枚（脱帽・上半身・正面向き。サイズは、縦4cm×横3cm）  
その他……………合格者発表時通知する。
5. **留意事項** 本学部が定めた入学手続期間内に入学手続を完了しない場合、入学辞退者として取り扱う。
6. **郵送による入学手続について**  
本学では、最終合格者に係る入学手続において、直接来学による受付と並行して郵送による受付も行う。  
郵送により入学手続を行なう際は、合格発表時に指定する方法で、平成28年3月15日（火）17時までに、入学意思があることを必ず本学部に連絡すること。  
郵送による入学手続書類の到着期限は平成28年3月19日（土）である。

## 9. 藝心寮（学生寮）について

1. **申込方法**  
運営会社より指定の申込用紙を送るので、下記電話番号へ連絡すること。  
なお、合格発表前に予約することができる。
2. **申込期間**  
(1) 合格発表前予約の申込期間 平成28年1月8日～2月29日  
(2) 合格後の申込期間 平成28年3月14日～3月15日  
（締切後も、空室がある場合は、随時受け付ける。）
3. **運営会社（問い合わせ・資料請求）**  
学生マンション総合案内センター 東京駅前センター  
株式会社毎日コムネット 東京駅前店  
フリーダイヤル0120-952-473  
藝心寮に関する情報  
■ホームページアドレス <http://www.geidai.ac.jp/life/welfare/geishinryo>

10. **入学料・授業料の免除・徴収猶予について** — 音楽学部と同様とする。（本募集要項50ページ参照）

III 平成28年度 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

(別表1)

学科	入学志願者が受験を要する教科・科目		受験を要する教科・科目名		受験を要する教科・科目数	備考
	教科	科目名等	教科	科目名等		
作曲科	国語 外国語	「国語」 「英語（リスニングテストを含む）」、「ドイツ語」、「フランス語」から1科目			2教科2科目	指定した教科・科目の配点は、「国語」200点、「外国語」200点とし、合計400点とする。
声乐科	国語 外国語	「国語」 「英語（リスニングテストを含む）」、「ドイツ語」、「フランス語」から1科目			2教科2科目	「外国語」のうち「英語」を選択受験した場合は、筆記の他にリスニングを課し、筆記(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計得点を200点満点に圧縮したものを「英語」の評価とする。なお、筆記又はリスニングどちらか一方でも受験しなかった場合、当該受験者を失格とする。
器楽科	国語 外国語	「国語」 「英語（リスニングテストを含む）」、「ドイツ語」、「フランス語」から1科目			2教科2科目	
指揮科	国語 外国語	「国語」 「英語（リスニングテストを含む）」、「ドイツ語」、「フランス語」から1科目			2教科2科目	
邦楽科	国語 外国語	「国語」 「英語（リスニングテストを含む）」、「ドイツ語」、「フランス語」から1科目			2教科2科目	大学入試センター試験の成績は、最終判定に用いる。本学部において実施する個別試験の成績を重視する。
楽理科	国語	「国語」			3教科3科目 又は4科目	指定した教科・科目の配点は「国語」200点、「外国語」200点、「地理歴史、公民、数学、理科のうち1教科」100点とし、合計500点とする。  「外国語」のうち「英語」を選択受験した場合は、筆記の他にリスニングを課し、筆記(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計得点を200点満点に圧縮したものを「英語」の評価とする。なお、筆記又はリスニングどちらか一方でも受験しなかった場合、当該受験者を失格とする。  「地理歴史、公民、数学、理科」に関しては、指定した教科・科目数を超過して受験した場合、これらのうち最も得点の高い1教科1科目(「物理基礎、化学基礎、生物基礎及び地学基礎」を受験した場合は2科目の合計得点)を評価対象とする。 ただし、「地理歴史、公民、理科(基礎を付していない科目)」において、2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を評価対象とする。「理科(基礎を付していない科目)」とは、「物理」、「化学」、「生物」及び「地学」を指す。  大学入試センター試験の成績は、1次及び最終判定に用いる。大学入試センター試験の成績及び本学部において実施する個別試験の成績を総合して判定する。
	外国語	「英語（リスニングテストを含む）」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目				
	地理歴史	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」	} から1科目	} から1科目 又は2科目 【注1】		
	公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」				
	数学	「数学I」、「数学I・数学A」、「数学II」、「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」				
理科	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2科目 又は、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1科目					
音楽環境創造科	国語	「国語」				3教科3科目 又は4科目
	外国語	「英語（リスニングテストを含む）」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目				
	地理歴史	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」	} から1科目	} から1科目 又は2科目 【注1】		
	公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」				
	数学	「数学I」、「数学I・数学A」、「数学II」、「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」				
	理科	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2科目 又は、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1科目				

【注1】 楽理科と音楽環境創造科における「理科」の選択科目は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4科目の中から2科目、又は、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4科目の中から1科目のいずれかとする。  
 【注2】 旧教育課程履修者に対する経過措置としての出題科目については、本募集要項の71ページを参照すること。  
 【注3】 本学部では、大学入試センター試験の過年度成績は利用しない。  
 【注4】 本学部の指定した教科・科目を受験していない場合は失格となる。

## ○平成28年度大学入試センター試験 旧教育課程履修者に対する経過措置

本学で課す平成28年度大学入試センター試験の利用教科・科目の「数学」について、楽理科及び音楽環境創造科においては、旧教育課程履修者に限り「工業数理基礎」を選択解答できるものとする。なお、新教育課程履修者は「工業数理基礎」を選択解答できない。

(注)

新教育課程履修者	①高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）に平成25年4月に入学し、平成28年3月卒業見込みの者 ②中等教育学校の後期課程に平成25年4月に進級し、平成28年3月卒業見込みの者
旧教育課程履修者	上記以外の者 ※高等学校等卒業生，高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込者，大学入学資格検定合格者，高等専門学校第3学年修了者又は修了見込者，外国の学校等修了者又は修了見込者，在外教育施設修了者又は修了見込者，及び高等学校等を平成28年3月卒業見込であるが，入学は平成25年3月以前の者など，上記に該当しない者

※ 「新教育課程」とは、平成25年4月1日から適用された高等学校学習指導要領（平成21年文部科学省告示第34号）に基づく教育課程及び平成21年3月9日文部科学省告示第38号の特例により定められた教育課程をいい、「旧教育課程」とは、従前の高等学校学習指導要領に基づく教育課程をいう。

## IV 平成28年度 音楽学部・別科入学試験実施日程表

注1. この日程表は、出願状況によって変更することがあるので、本人が表中の日程掲示日時に来学又は本学ホームページで確認すること。  
 注2. 日程等掲示を確認する際は、平日は20時まで、土日は17時までに来学すること。  
 注3. 表中の※は、楽理科志願者に課されている副科実技を、ピアノ以外の楽器で受験する者の副科実技試験日を示す。  
 注4. 試験日を間違えた場合は、受験資格を失うので十分注意すること。

(別表2)

学科 日程	作曲科	声乐科	器楽科					指揮科	邦楽科	楽理科	音楽環境創造科	受験者 集合場所
			ピアノ	オルガン	弦楽	管打楽	古楽					
平成28年2月 24日(水)	音楽学部入学試験実施についての日程(集合時刻、試験時刻)および注意事項等を16時以降学内掲示及び本学ホームページで発表する。(必ず受験者本人が確認すること。) なお、別科試験実施についての日程(集合時間・試験時刻)および注意事項等は、平成28年3月5日(土)16時以降学内掲示及び本学ホームページで発表する。											
25日(木)	作曲第1回 9:30~12:30和声(B) 14:00~17:00和声(S)	声乐第1回 10:00~	ピアノ第1回 10:00~		弦楽第1回 10:00~	管打楽第1回 10:00~			邦楽第1回 三味線音楽・邦楽囃子・現代邦楽囃子 9:30~ 日本舞踊 13:00~ 能楽・能楽囃子 10:00~ 雅楽 15:30~		音楽環境創造 第1回(学力検査) 10:00~11:00	5   1 0 9 室  (大講義室)
26日(金)	作曲第1次合格者発表 および日程等発表 16:00以降	声乐第1回 10:00~	ピアノ第1回 10:00~	オルガン試奏日 10:00~	弦楽第1回 10:00~	管打楽第1回 10:00~		邦楽第1回 箏曲生田流 14:00~ 箏曲山田流 14:00~ 現代箏曲 12:00~ 尺八 10:00~		音楽環境創造第1次合格者 発表および日程等発表 16:00以降		
27日(土)	作曲第2回 12:00~15:00 厳格対位法 15:20~17:20 コーラル課題	声乐第1次合格者発表 および日程等発表 16:00以降	ピアノ第1回 10:00~	オルガン第1回 10:30~	弦楽第1回 10:00~	管打楽第1回 10:00~			楽理第1回 (国語)9:30~11:30 (外国語)12:30~14:30	音楽環境創造 第2回(小論文) 10:00~12:00		
28日(日)	作曲第2次合格者発表 および日程等発表 16:00以降		ピアノ第1次合格者 発表および日程等発表 16:00以降									
29日(月)		声乐第2回 10:00~		オルガン・弦楽・管打楽 第1次合格者発表 および日程等発表 16:00以降			指揮第1回 (実技)10:00~	邦楽・楽理第1次合格者発表 および日程等発表 16:00以降				
3月 1日(火)												
2日(水)	作曲第3回 9:30~18:30 自由作曲	声乐第2回 10:00~	ピアノ第2回 10:00~			管打楽第2回 10:00~	指揮第1次合格者発表 および日程等発表 16:00以降		※管打楽器	音楽環境創造 第2回(面接) 10:00~		
3日(木)		声乐第2次合格者発表 および日程等発表 16:00以降	ピアノ第2回 10:00~	オルガン第2回 14:00~	弦楽第2回 10:00~	管打楽第2回 10:00~	指揮第2回 10:00~	邦楽第2回(面接含む) 三味線音楽・邦楽囃子・現代邦楽囃子 9:30~ 日本舞踊 13:00~ 箏曲山田流 14:00~ 箏曲生田流 14:00~ 現代箏曲 12:00~ 尺八 10:00~ 能楽・能楽囃子 10:00~ 雅楽 15:30~	※オルガン ※弦楽器 ※管打楽器 ※三味線音楽 ※邦楽囃子 ※箏曲山田流 ※箏曲生田流 ※尺八 ※能楽囃子 ※雅楽	音楽環境創造 第2回(面接) 10:00~		
4日(金)		声乐第3回 10:00~	ピアノ第2回 10:00~		弦楽第2回 10:00~	管打楽第2回 10:00~	古楽第1回 10:00~	指揮第2次合格者発表 および日程等発表 16:00以降	※弦楽器 ※管打楽器 ※チェンバロ	音楽環境創造 第2回(面接) 10:00~		
5日(土)	作曲第3次合格者発表 および日程等発表 16:00以降	声乐日程等発表 16:00以降	ピアノ・オルガン・弦楽・管打楽第2次合格者発表 および日程等発表16:00以降			古楽第1次合格者発表 および日程等発表 16:00以降	指揮第3回 (和声)10:00~11:30 指揮日程等発表 16:00以降	第2次合格者発表 および日程等発表16:00以降	楽理第2回 (和声)10:00~11:30 (小論文)13:00~15:00 楽理日程等発表16:00以降	音楽環境創造 第2回(面接) 10:00~		
6日(日)												
7日(月)	聴音・楽典・新曲視唱・ リズム課題・副科ピアノ 10:00~  ピアノ新曲・面接 14:30~	聴音・楽典・副科ピアノ 10:00~	聴音・楽典・ 新曲視唱・ リズム課題 10:00~  別科ピアノ 10:30~	聴音・楽典・新曲視唱・ リズム課題・副科ピアノ 10:00~			聴音・楽典・ 新曲視唱・ リズム課題 10:00~	楽典・ 副科ピアノ 10:00~	楽典 10:00~11:00	聴音・楽典・ 新曲視唱・ リズム課題・ 副科ピアノ 10:00~		
8日(火)		別科声乐 10:00~		別科オルガン 13:00~ (試奏は午前)	別科弦楽 10:00~	別科管打楽 10:00~	別科古楽 15:00~ (Borg 試奏は午前)		別科邦楽 10:00~	楽理第2回 (口述試問) 9:30~		
12日(土)	音楽学部・別科 最終合格者発表 13:00以降(最終合格者には入学手続書類を交付する。)											

## V 個人情報の取り扱いについて

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」という。）により、本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報の利用については、入学者選抜に係わる業務のほか、次のとおりとする。

### 1. 利用目的について

- (1) 合格者の住所・氏名等の個人情報を入学手続きに係わる業務で利用する。
- (2) 入学手続き者の住所・氏名等の個人情報を入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並び健康診断等の健康管理に係わる業務で利用する。
- (3) 入学手続き者の住所・氏名等の個人情報を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用する。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を1年次における入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用する。
- (5) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を個人が特定できない形で統計処理等の付随する業務及び入学案内業務並びに本学における入学者選抜に関する調査研究で利用する。

### 2. 第三者への個人情報の提供について

本学が取得した個人情報は、「個人情報保護法」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはない。

ただし、次の場合必要最低限の情報を提供することがある。

- (1) 上記1.(1)~(5)の個人情報を取扱う業務を、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者へ委託する場合
- (2) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、合格及び入学手続き等に関する個人情報（氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限る）を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達する場合
- (3) 本人の利益となる次の学外関係者に情報提供する場合
  - ①音楽教育振興会（音楽学部の教育研究、学生の課外活動などを支援するための学生の父母により組織される会）
  - ②杜の会（美術学部同窓会）
  - ③同声会（音楽学部同窓会）
  - ④東京藝術大学生活協同組合

# 平成28年度東京藝術大学音楽学部入学者選抜試験 個人成績請求申込書

申込日 平成28年 月 日 ( )

ふりがな  
氏名 \_\_\_\_\_

現住所 (〒 \_\_\_\_\_ ) TEL ( \_\_\_\_\_ )

受験した専攻 \_\_\_\_\_ 受験番号 \_\_\_\_\_

	開 示 内 容		希 望 の 有 無 (以下を記入すること。)
①	<b>大学入試センター試験成績【得点】</b>	科目名記入	
	大学入試センター試験の成績を科目ごとに開示する。		
②	<b>藝大の個別入学試験成績【順位】</b>	○でかこむ	第1次試験
	第1, 2, 3次(作曲のみ)試験及び最終試験の各合否判定に用いた順位を開示する。ただし、各楽器等種類ごとの各合格者数が、少数(10人程度以下)の場合は開示しない。		第2次試験
			第3次試験(作曲のみ)
			最終試験
③	<b>最終判定に影響があった試験科目</b>	○でかこむ	希望あり
	最終次試験不合格者には、総合判定に影響のあった試験科目が特定できる場合に、その科目名を開示する。		希望なし
④	<b>調 査 書</b>	○でかこむ	希望あり
	「指導上参考となる諸事項」, 「備考」欄は除く。		希望なし

- (注) 1. 本募集要項13ページの「入学者選抜試験個人成績の開示について」を参照のうえ、申し込むこと。  
 2. この書類は、すべて受験生本人が記入すること。  
 3. 申込期間前, 期間後のものは、一切受け付けない。  
 4. 申込書受領後, 成績の送付まで約3週間かかる。

